

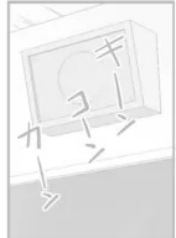
氷室京華は

DQN教師に

わからせられる!?

2





今日は  
ここまでよ



1/9

あらすじ

私立〇校に勤務する氷室京華(37)は  
ベテランの音楽教師。

家族は大手企業に務める夫の孝之、  
息子である中〇生の拓也。

京華は忙しくも充実した日々を過ごしていた。

結婚記念日の週末。

京華は夫とのディナーを楽しんだ帰路  
同僚の新人教師堂島と偶然出会う。

日頃から京華に冷たくあしらわれていた堂島は  
酔った京華に鬱憤と欲望をあらわにして  
その毒牙を向けたのだった

堂島はその時の状況を映像に収め、  
それをネタに京華を脅迫し  
その劣情をエスカレートさせていく……

いい加減にしろさい！

ヒック

に説教する癖に  
方はこんな所で  
遊びっスか

は……？

ないでしょ  
この下種!!

んっむうう

もうやめーッ

ギャッ

んぐうううッッ



僕の  
母さんは

私立高校で  
教員をしていて  
音楽を教えている



高校二年生の  
クラスを担任に  
持っているらしい

期末テスト  
お疲れ様

その仕事ぶりは  
校内外問わず  
高く評価されて  
いるようだ

もうすぐ夏休みに  
入るけど  
浮かれ過ぎないように

真面目で  
賢い母さんなら  
当然だと  
父さんはいつも  
誇らしげに  
自慢しててちょっと  
うざい



とはいえ  
確かに母さんは  
凄いと思う

仕事が  
忙しいのに  
家事も  
そつなくこなして…

料理も美味しい



感情をあまり  
表に出さない  
人だけど…

あッ  
ミスった

カキ  
カキ  
カキ  
っていうか  
コイツ硬すぎ



よっしゃ!

拓也

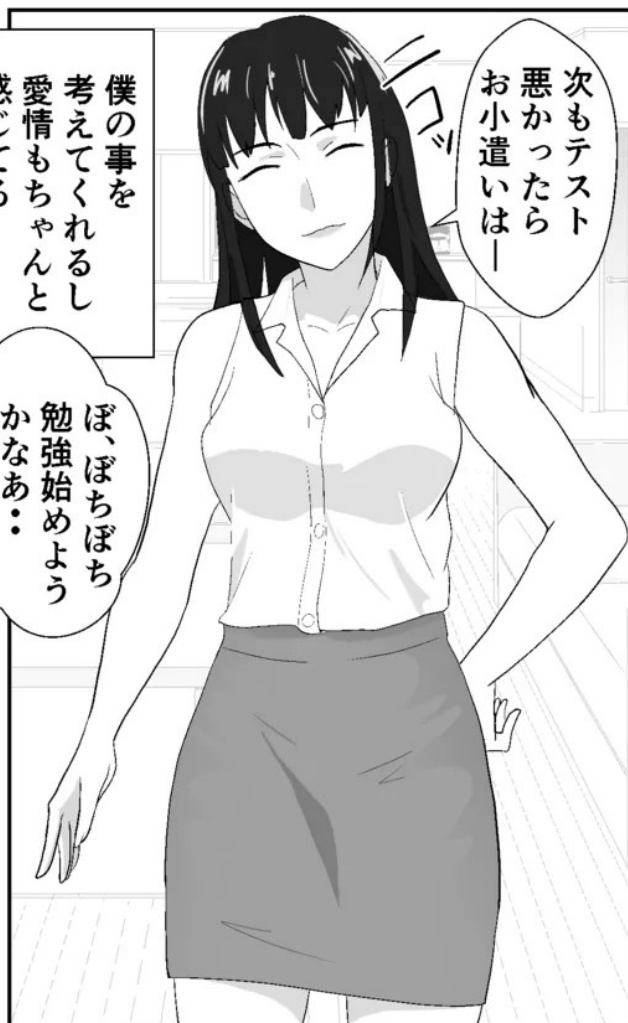
なに? 母さん  
今ちょっと  
忙しいから…



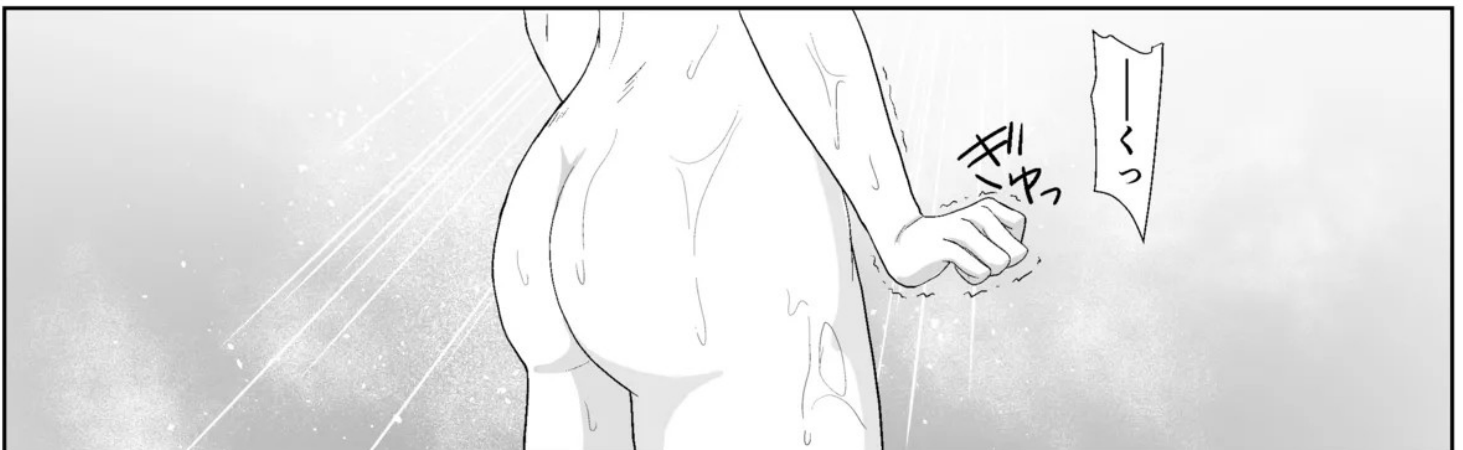
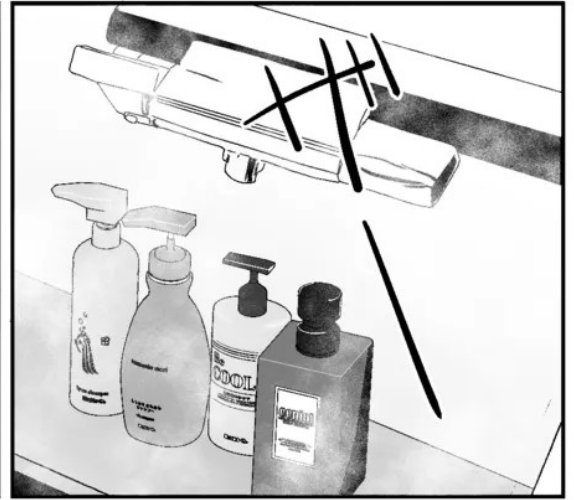
次もテスト  
悪かったら  
お小遣いは—

僕の事を  
考えてくれるし  
愛情もちゃんと  
感じてる

ぽ、ぽちぽち  
勉強始めよう  
かなあ:  
アハハ









いやさ  
最近君の入浴時間が  
長くなったなと  
思ってたさ



え？



ははは  
確かにね

僕も部下には  
水分をこまめに  
摂るよう  
口酸っぱく  
言ってるよ

熱中症は  
怖いから



・・・そうかしら  
特にそういうつもりは  
なかったけど

近頃は  
暑くなってきたから  
さっぱりしたくて  
長くなったのかもね



ああ  
そうだ

前に君に話した  
フレンチの美味しい  
店だけどね  
やっと予約が取れたから  
今度行かないか？

本当に！  
行ってみたいと  
思ってたのよ

少し先に  
なるけど  
来月の24日  
金曜日の夜だ  
大丈夫？

24日ね  
仕事は  
調整しておくから  
大丈夫よ

ふふふ  
楽しみだわ

それじゃ  
私は先に仕事へ  
行くわ

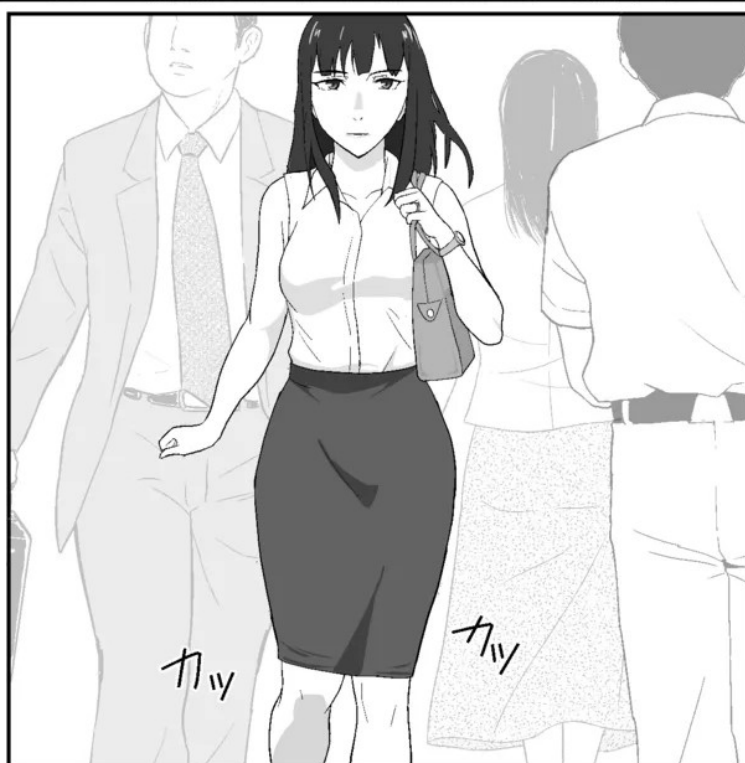
拓也の弁当は  
カウンターに  
置いてるから  
持って行ってね

ありがとっ！  
行ってらっしゃい

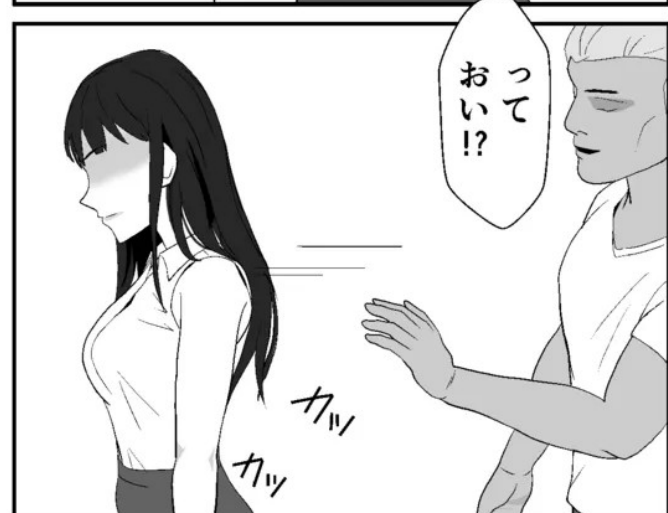
僕は歯科を  
予約してるから  
遅出するよ

あの子がのんびり  
してたら  
遅刻しないように  
送り出して頂戴

わかった









舐めやがってえ

ムカつき過ぎて  
興奮しちゃったじゃ  
ねえかよ



その澄ましたツラ  
見てるとよ

減茶苦茶に  
したくなる  
んだよお

ゴッ  
カッ  
ゴッ

!?

ハッ

ムニ





嘘でしょ!?  
こんな  
公衆の面前で

ぽえっ  
マジで騒ぐなよ  
俺もバレたくは  
ねえからよ

おお  
緊張感  
やべえ



や...  
やめなさいっ

ズボン越しに  
擦りつけるだけで  
めっちゃ  
興奮してきた



ほあ  
こんなトコで  
教師が痴漢プレイ  
なんて  
世間にバレたら  
二人揃って  
クビだな  
ほあ

どうして  
私まで...ッ

あなたが  
勝手に...



あなた  
何をッー!?

堂島先生ー!?

見りゃわかんだら  
痴漢してんだよ

スレ  
スレ





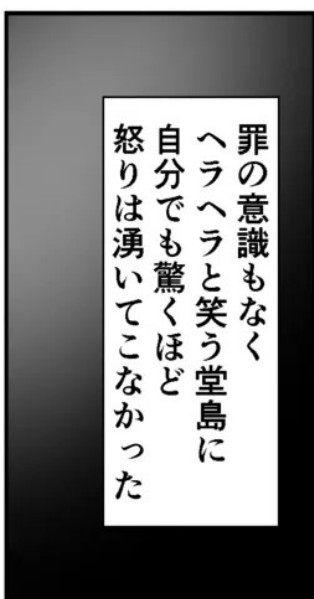
何言ってるんだ

俺がクビになつたら  
あの時の映像  
バラ撒くに  
決まってるだろ

道連れだ



この男に辱められ  
毎日怒りと後悔に  
苛まれていたはずなのに……

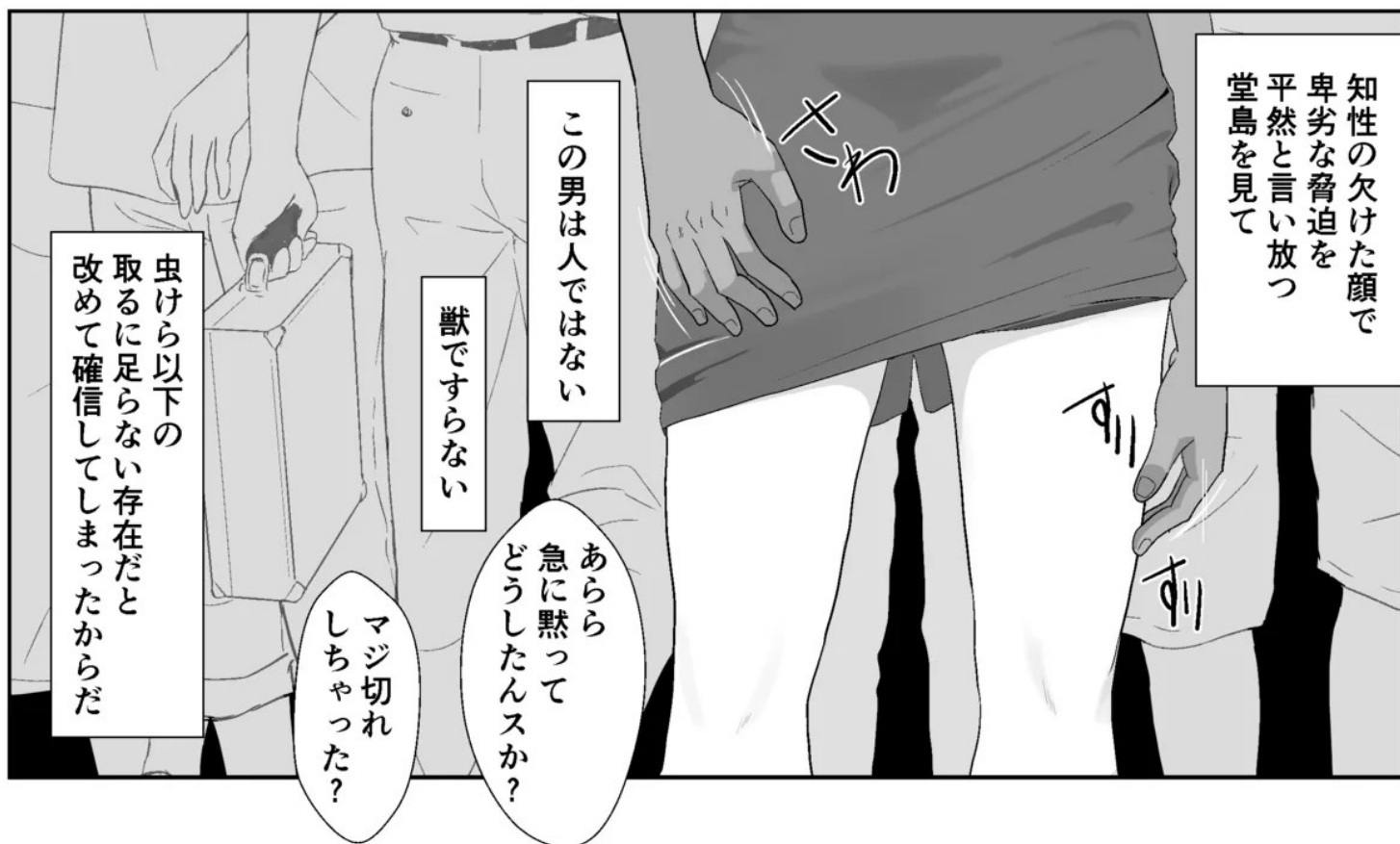


罪の意識もなく  
ヘラヘラと笑う堂島に  
自分でも驚くほど  
怒りは湧いてこなかった



この時

せいぜい  
バレないように祈って  
大人しくしてるんだな



知性の欠けた顔で  
卑劣な脅迫を  
平然と言い放つ  
堂島を見て

この男は人ではない

獣ですらない

あらら  
急に黙って  
どうしたんスか？

マジ切れ  
しちゃった？

虫けら以下の  
取るに足らない存在だと  
改めて確信してしまったからだ

氷室センセー

こんな男に  
これまで  
自分の感情が  
振り回されていたのかと  
思うと――

無視しないで  
くださいよお  
傷つくなあ

大人しくしろと  
言ったのは  
あなたよ

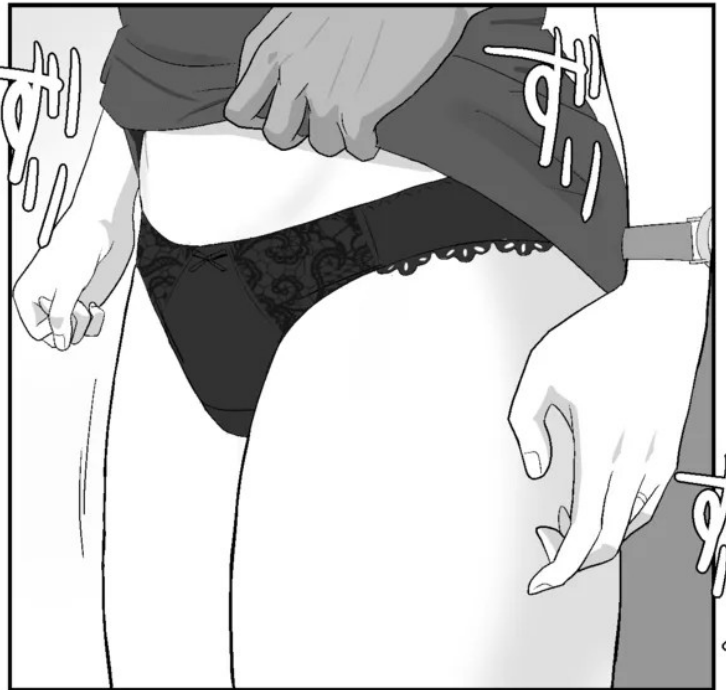
あつ  
やっぱり  
怒ってる笑

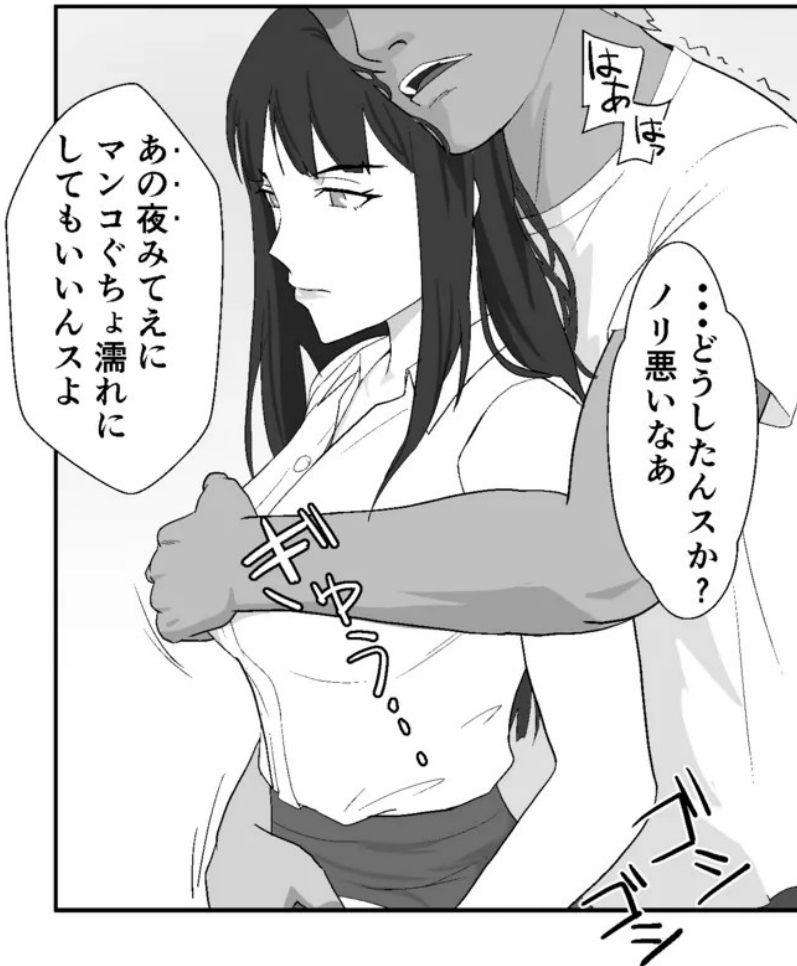
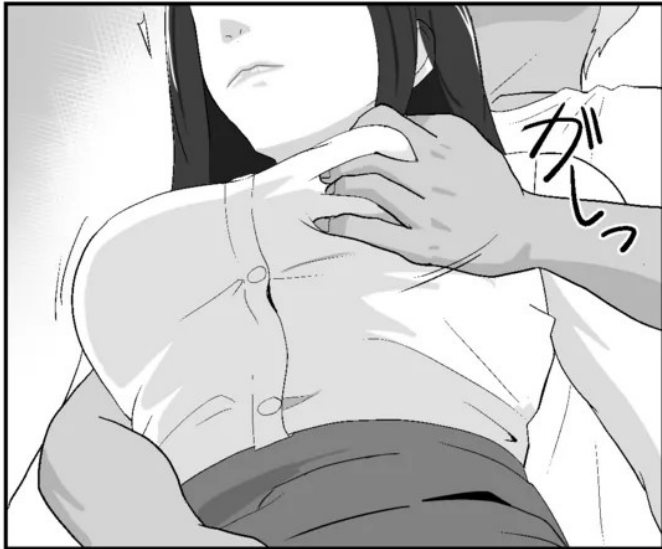
怒りを通り越して  
虚しくなってくる

はっ

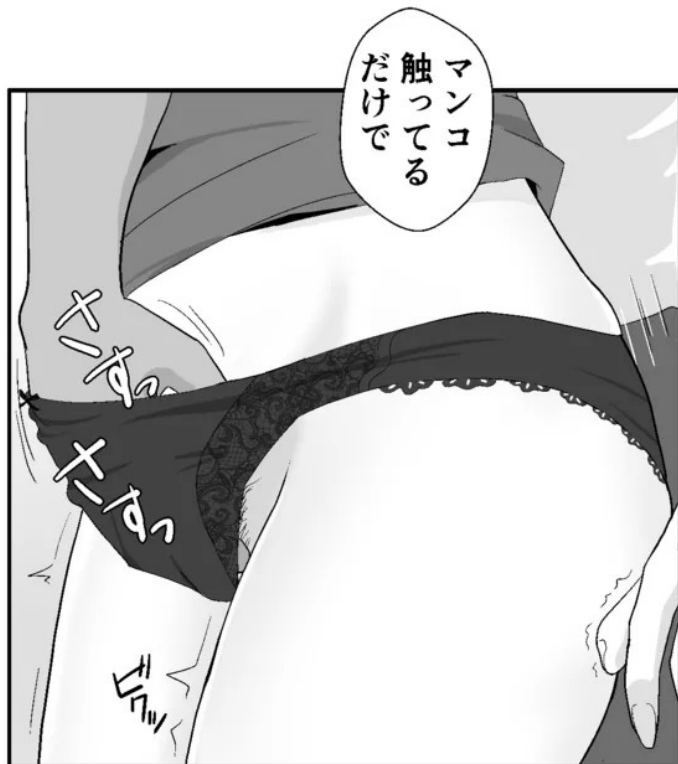
はっ

むにゅ

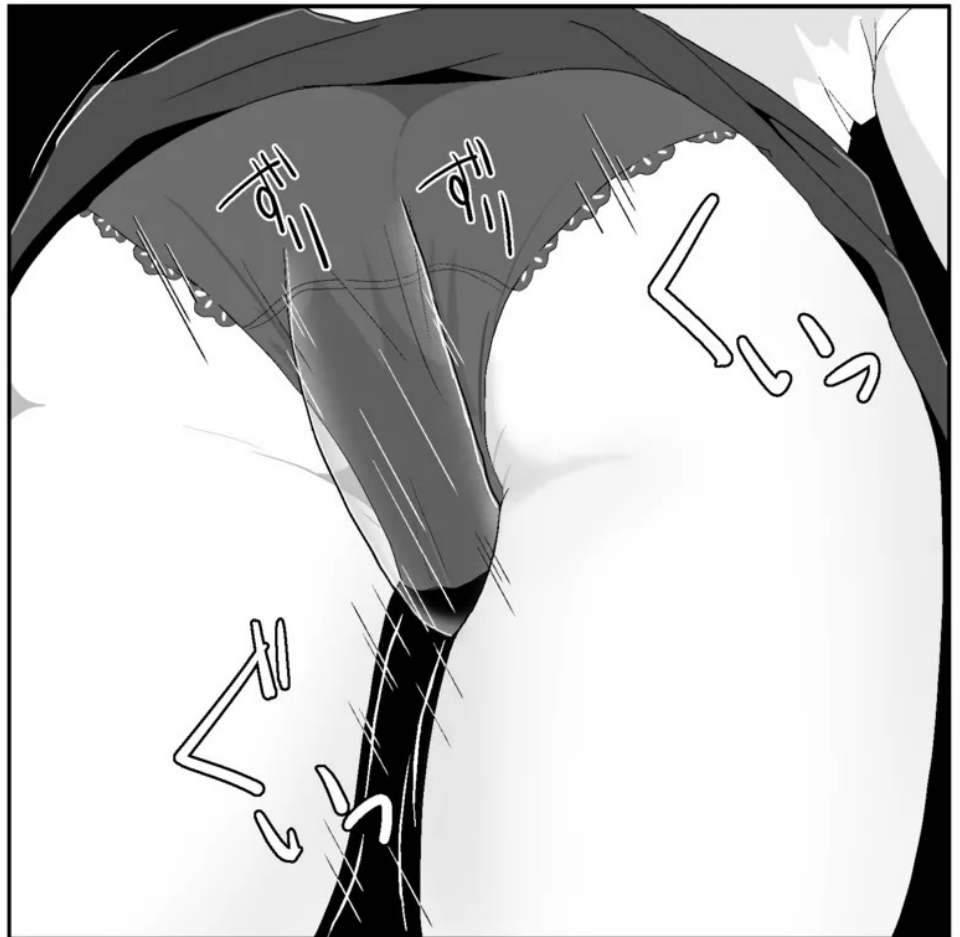












はっ  
慣れてない感じで  
腰動かしてる  
氷室先生  
可愛くて  
卑猥っすよ  
はっ

あれ?  
顔少し赤くない?

もしかして  
今更  
恥ずかしく  
なったとか?

…黙りなさい

おー怖っ  
それでも  
腰振る氷室ちゃん  
エロい笑

おおッ

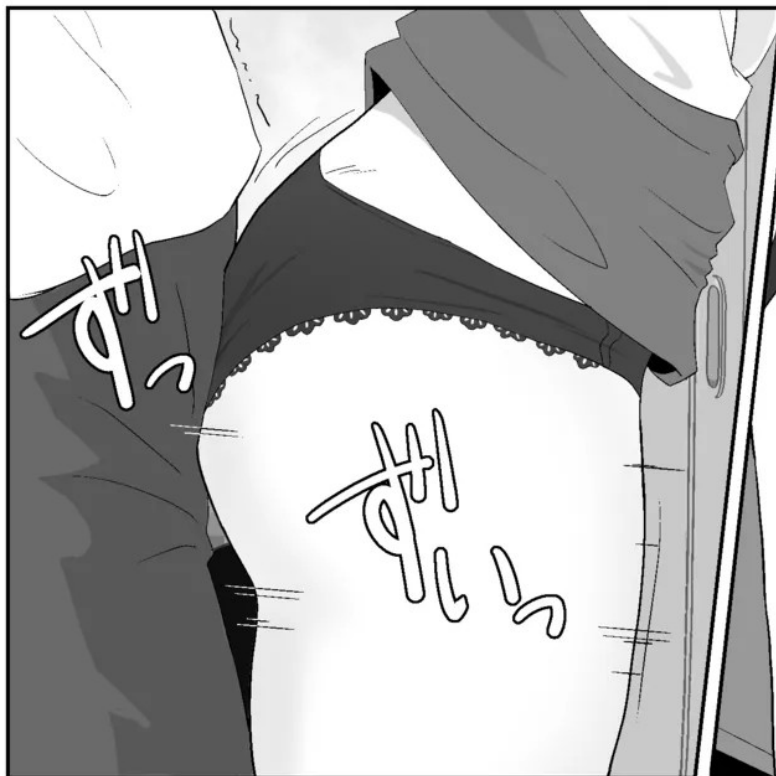
うゝ

…動き  
止めるなよ

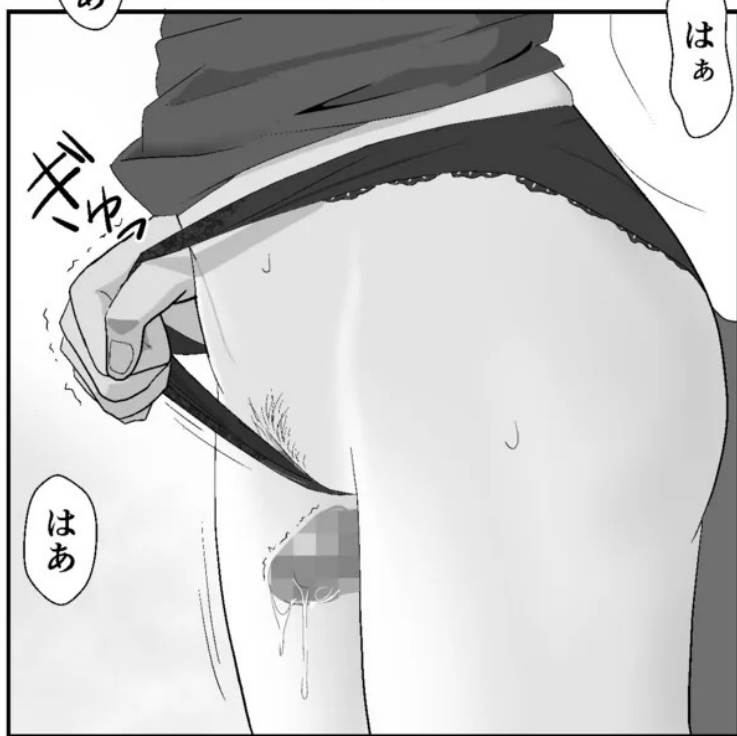
ッ…

ゴッ  
ギョッ  
ギョッ



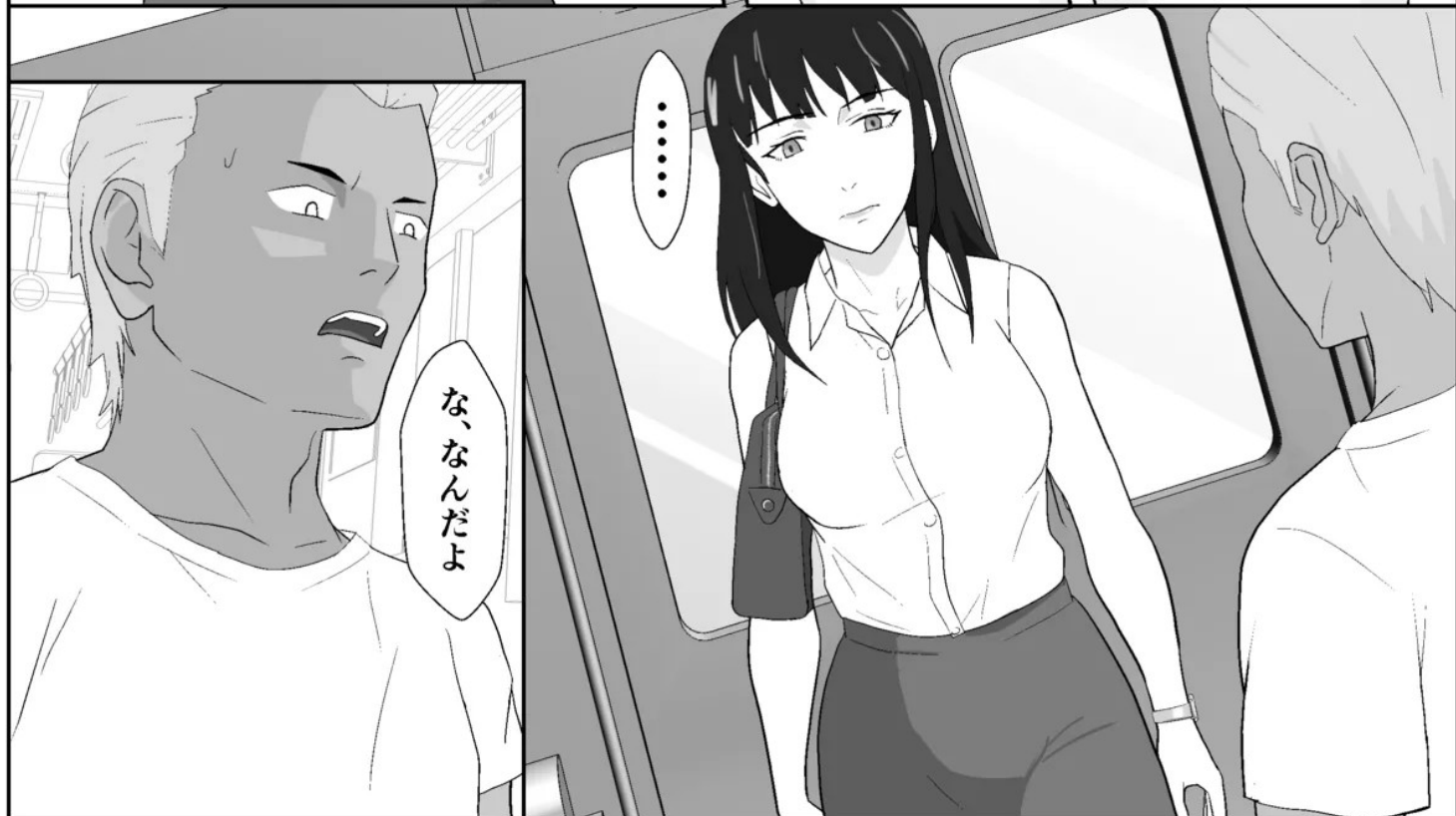
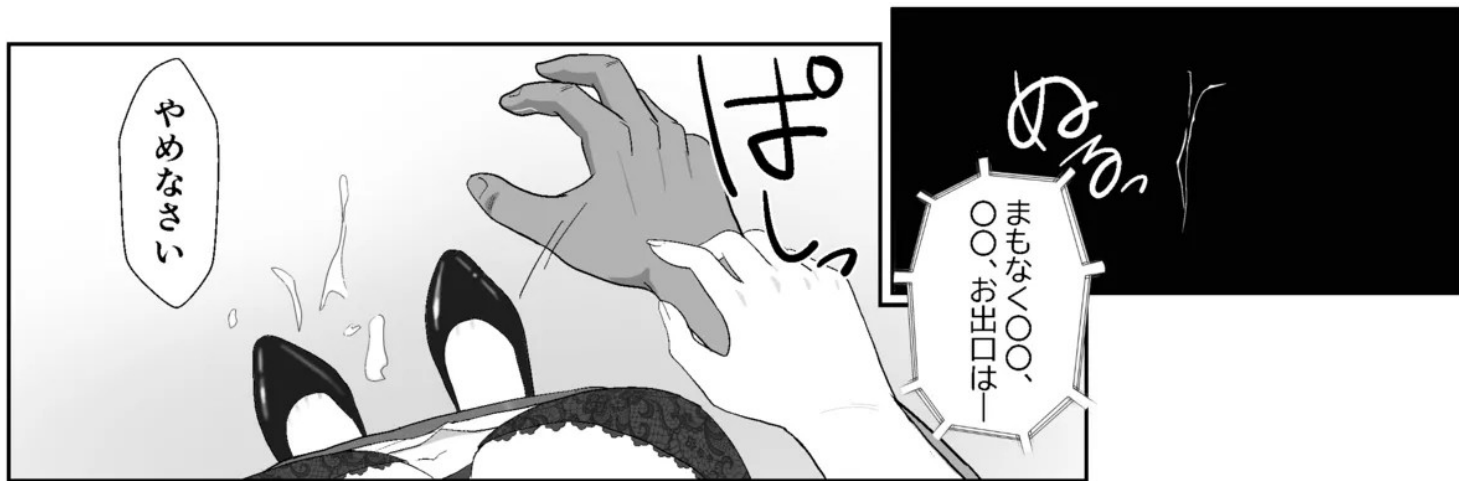






面倒見がいい  
先輩と知り合えて  
俺は

氷室先生  
チンポ啜えて  
ゆっくり腰を振り  
続けてくれた  
もんな





よくよく  
考えてみると

あなたは  
可哀そうな人……  
なのでしょね

!?

気づいてる?

あなた  
無神経に  
脅迫するくせに  
妙に私の反応に  
こだわるわよね

臆病で卑怯者  
歪んだ承認欲求

まるで  
愛情に飢えた子供が  
母親をわざと  
困らせて  
様子を探るような……

おいコラ!  
俺を構ってちゃんの  
ガキと一緒に  
すんじゃねえ!

そうね  
一緒にするのは  
子供に失礼かしら  
あなたのそれは  
常軌を逸してるし

くッ

ここのババア

好き放題に  
言ってるじゃ  
ねえぞ

私に  
縋<sup>すが</sup>りつかないで

私はあなたの  
母親でもなければ  
恋人でもないの

関心もない

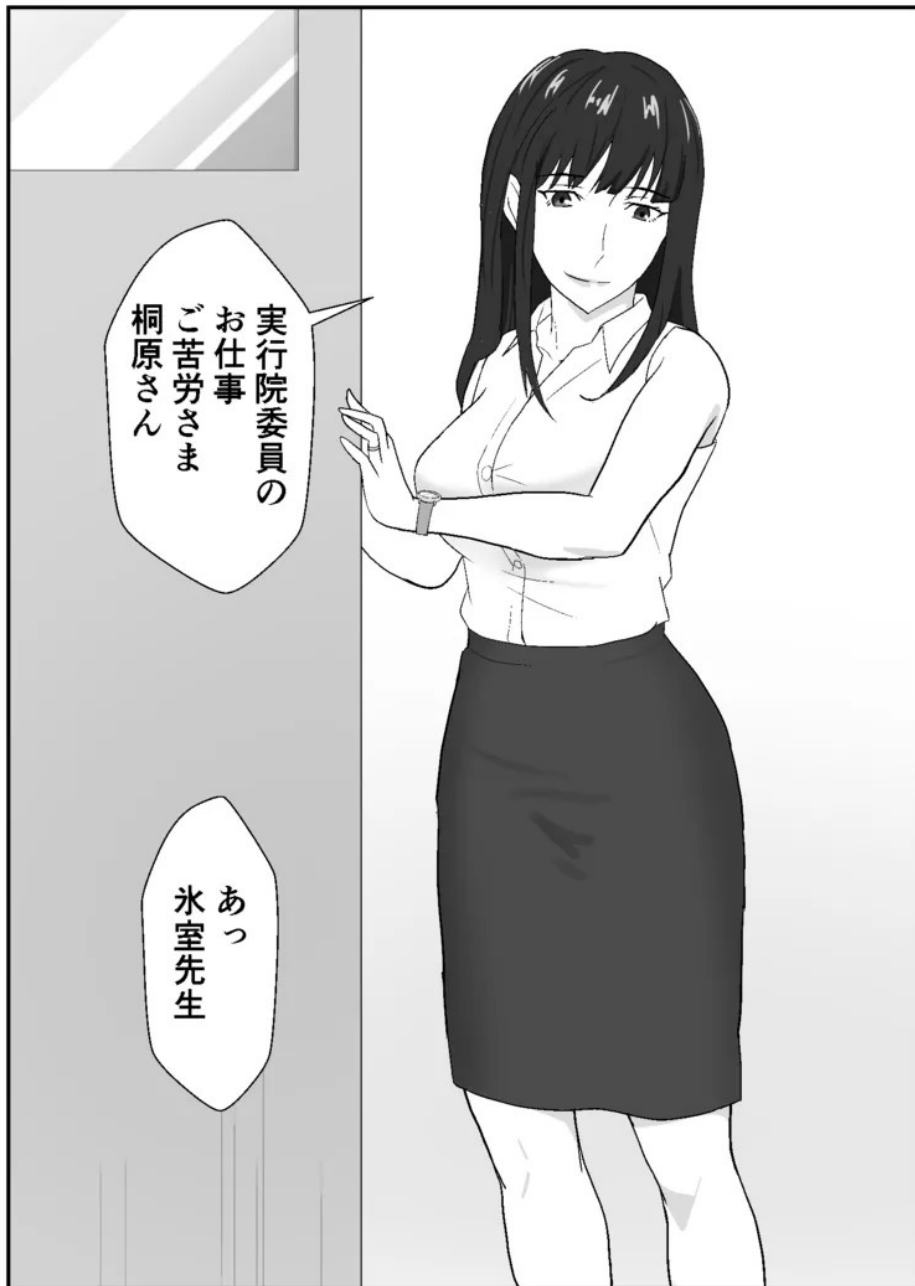




ひひひ  
最後に  
泣きわめいて  
縋りつく事に  
なるのは誰なのか  
思いしらせてやる  
からなあ……

フン  
フン  
氷室先生！

2組の桐原です  
修学旅行実行委員の  
資料を纏めたので  
持って来ました



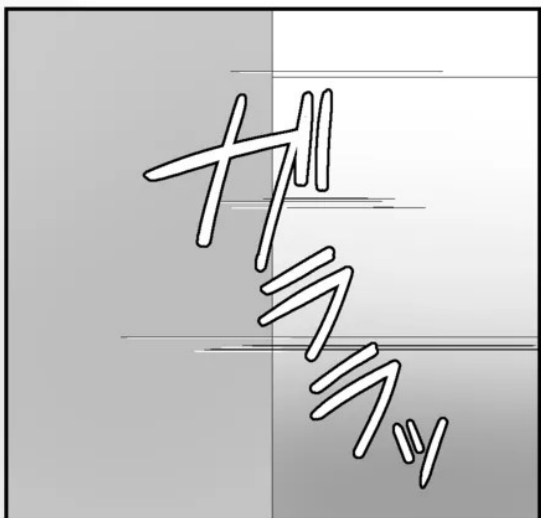
実行院委員の  
お仕事  
ご苦労さま  
桐原さん

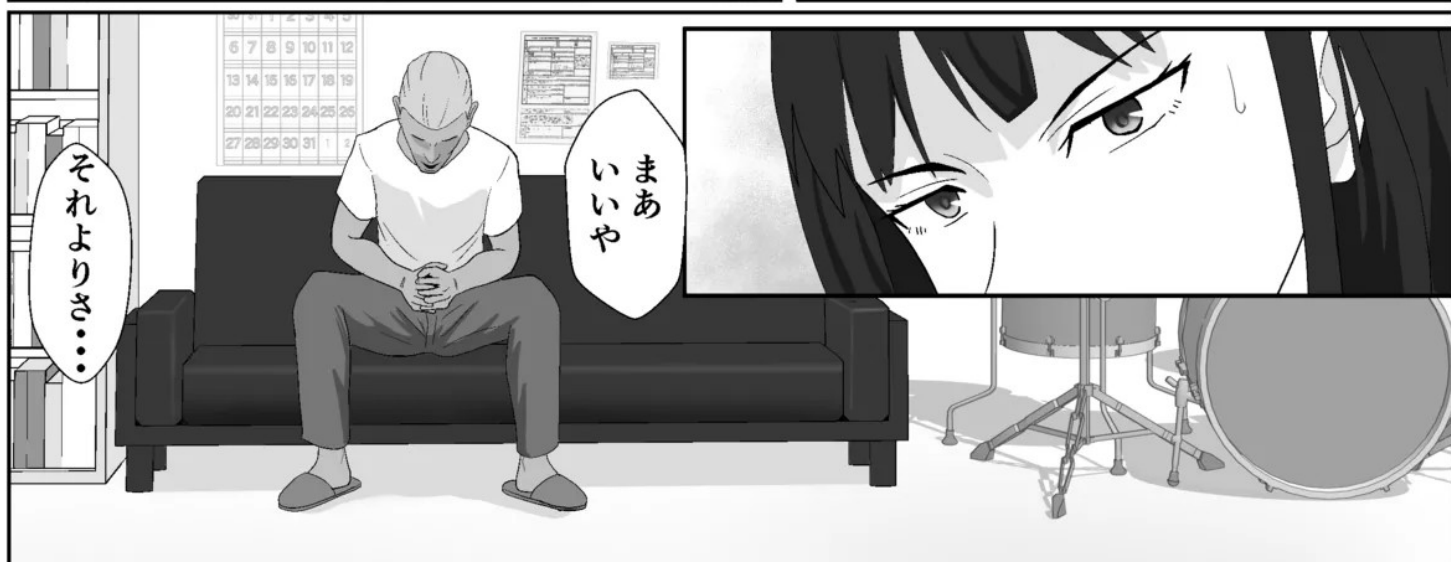
あっ  
氷室先生



あれ……氷室先生  
いないのかな……？

ここに  
いるって  
聞いたんだけど……



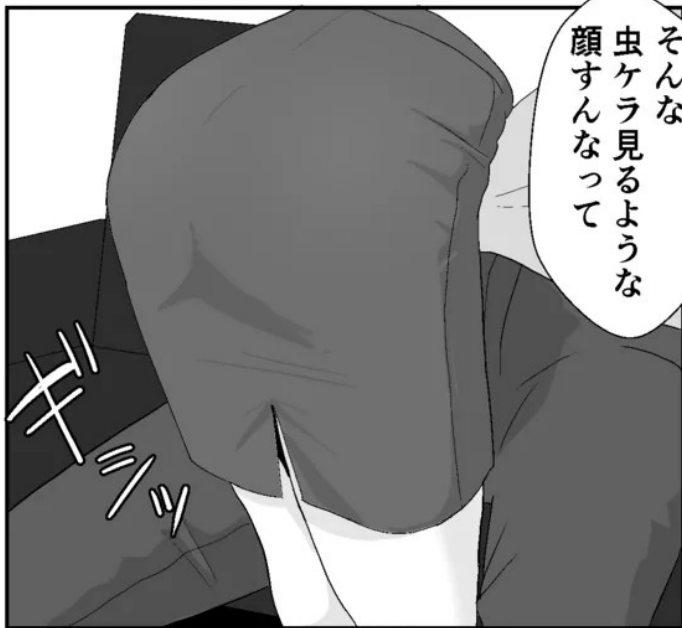






早くしろよ  
昼休み  
終わっちゃうだろ

あんたも  
音楽の授業  
あるんだろ



そんな  
虫ケラ見るような  
顔すんなって



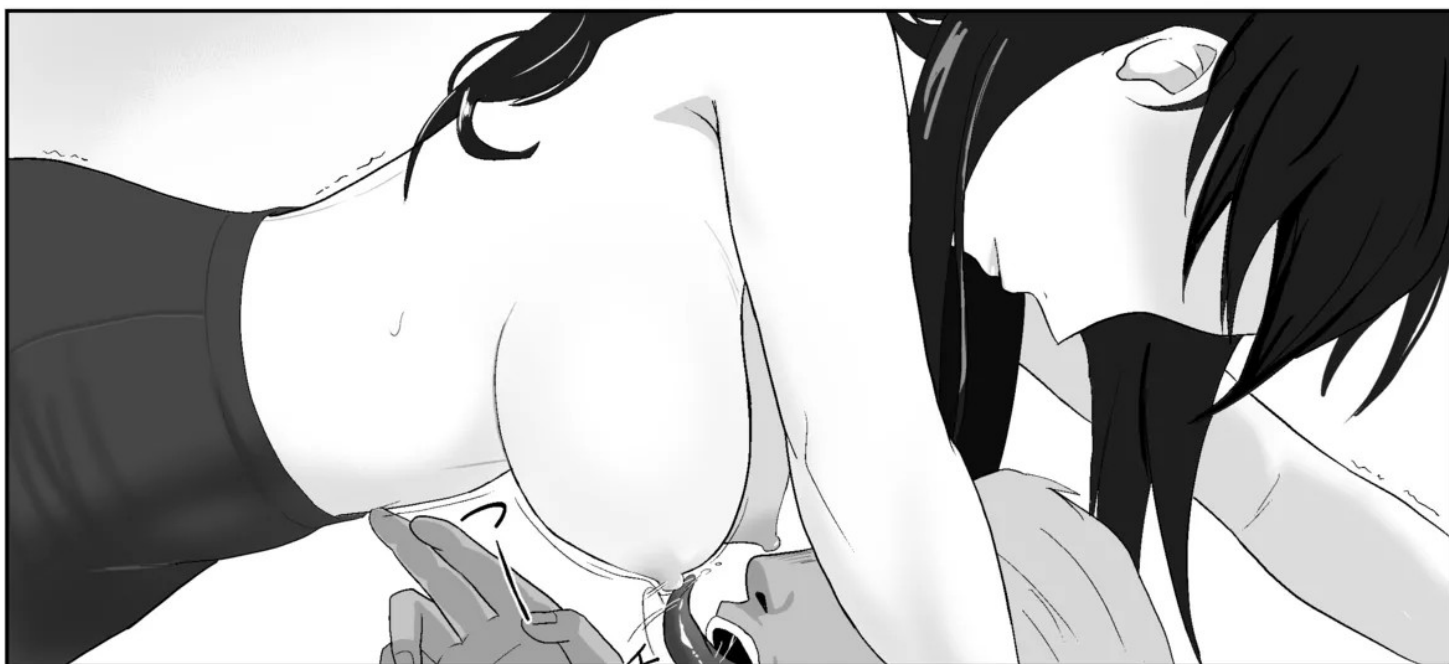
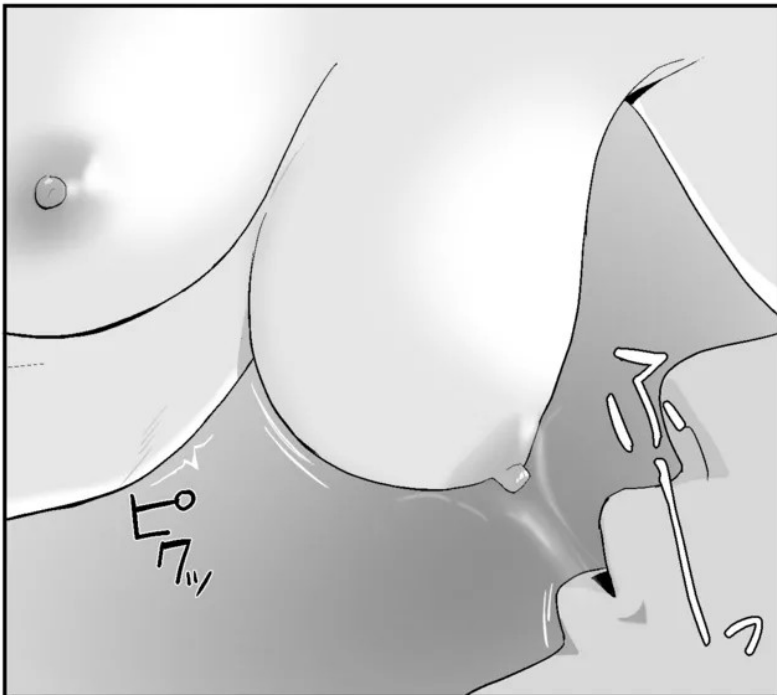
キャー

ったく...



おっぱい  
舐めるだけじゃん

あーあ  
またシカトかよ  
傷つくなあ



フ  
フ  
フ



どうした？  
急に喋り始めて

気を紛らわそうと  
してんのか？



…恥を知らないさい

ちゅぽ

仮にも  
教職に就く者が  
学校でこんな事を…



先っぽこんなに  
硬くしてよ



…ばかばかしい

そんなデタラメ  
言うわけ  
ないでしょ



そのかわり  
『あの夜は旦那より  
俺とのセックスが  
良かった』と言えよ

今日はもう  
やめて  
やってもいいぜ



相変わらず  
感じやすい  
おばさんだな笑

でも  
まあ…

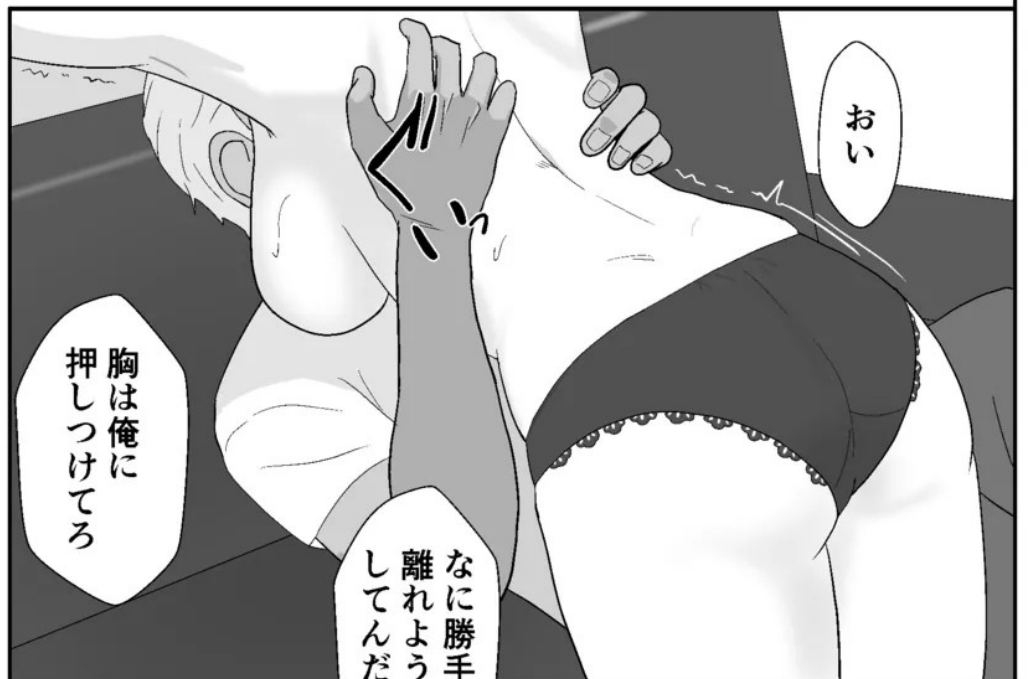
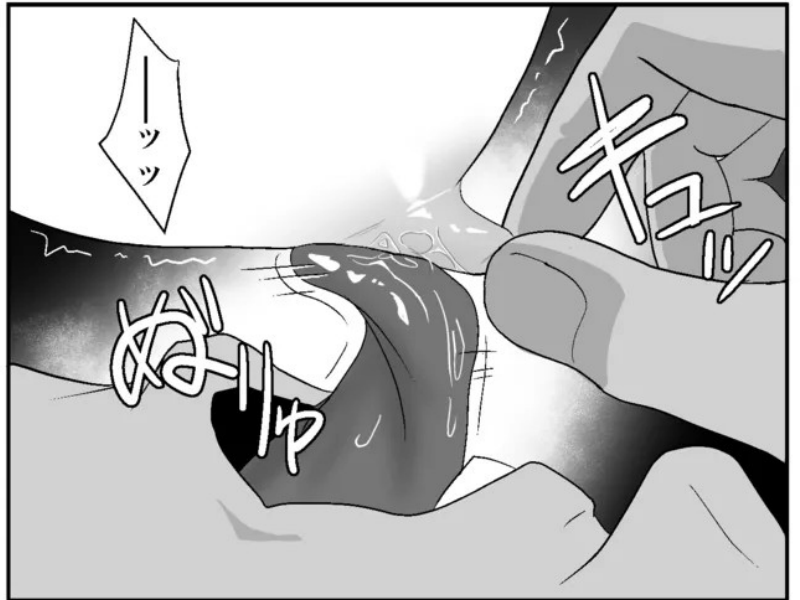
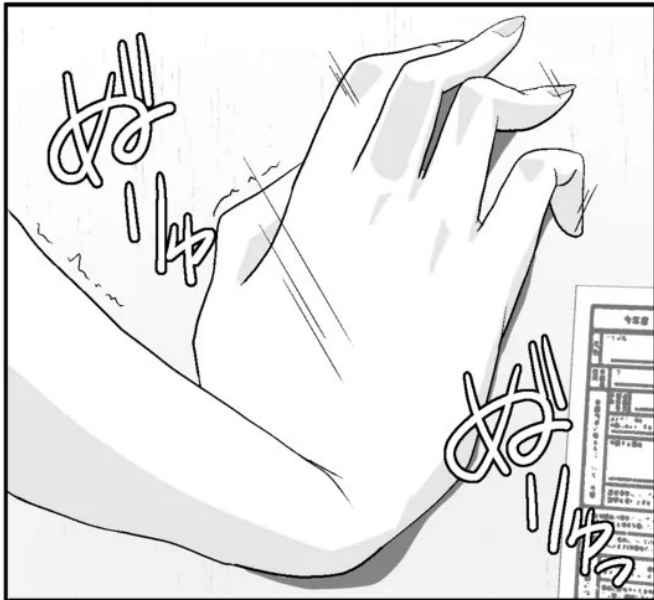


出すなよ  
ここは『学校』  
なんだからな笑

しるる



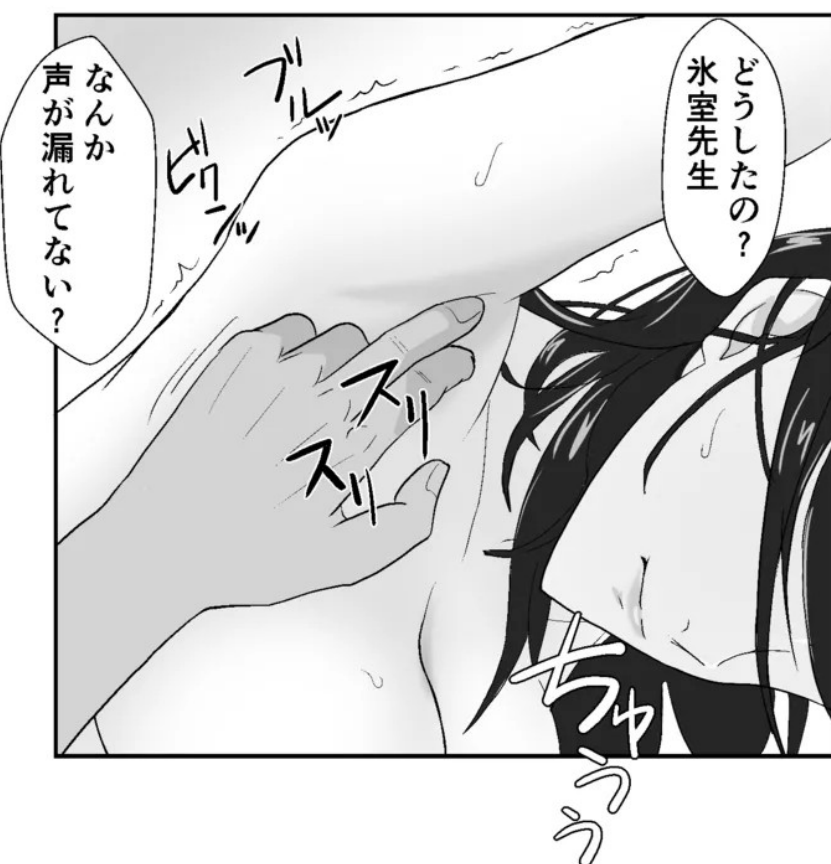


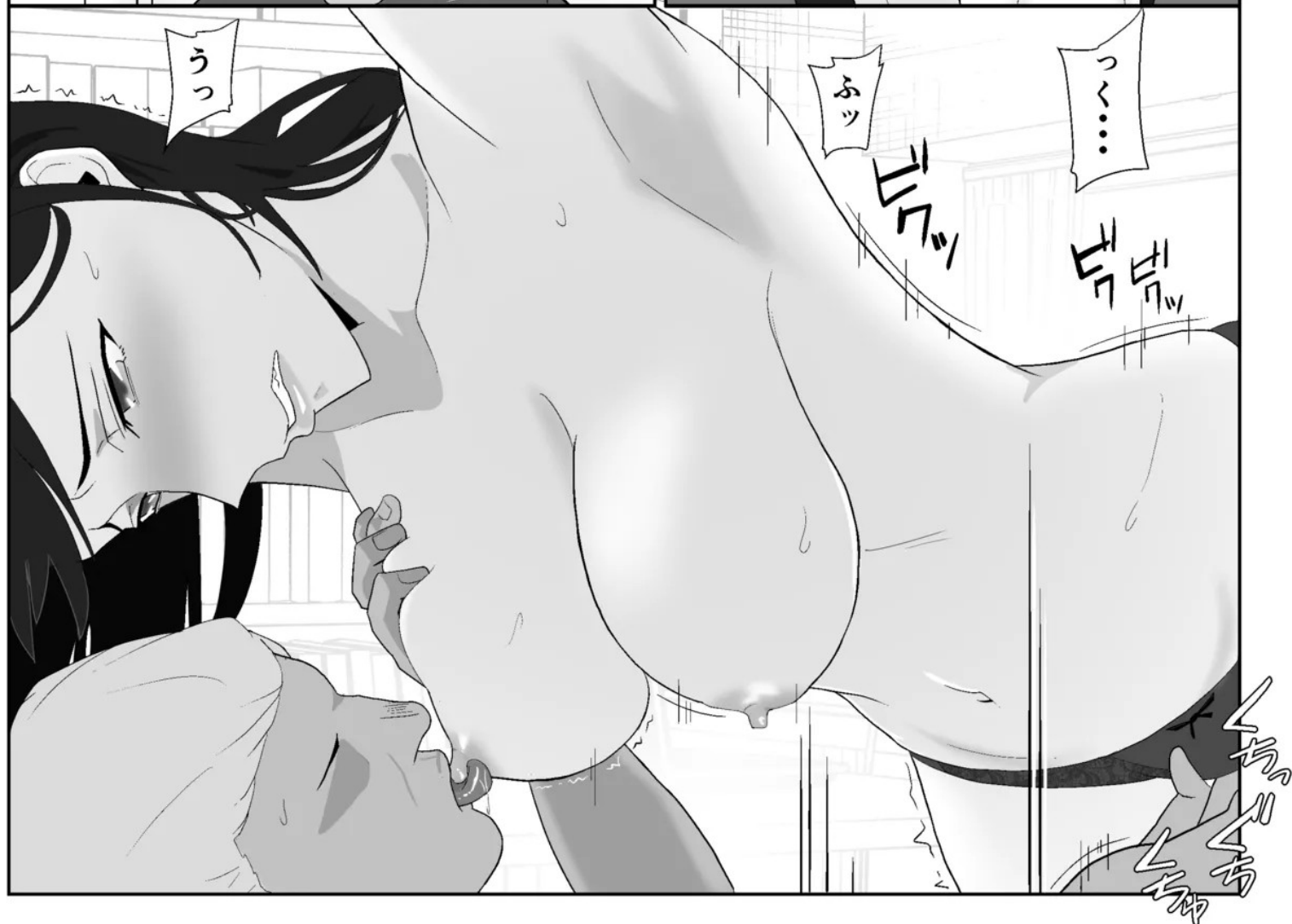


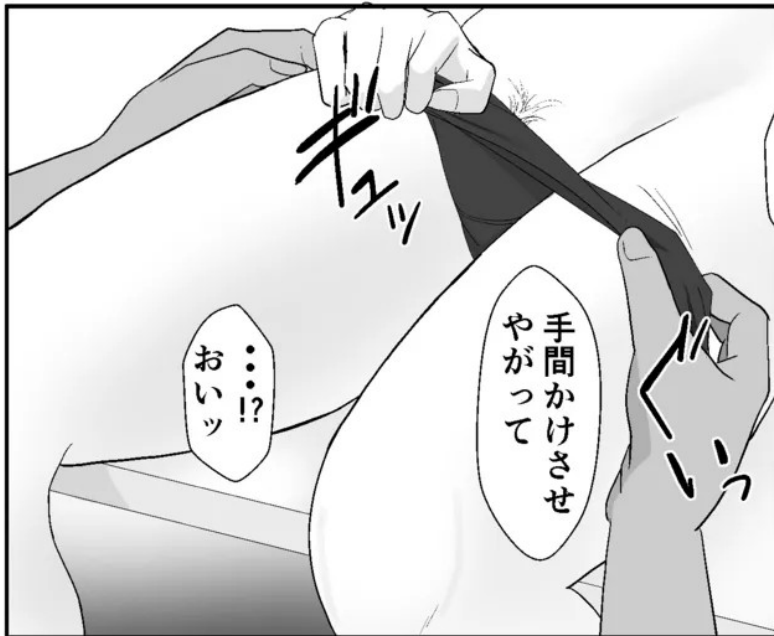
胸は俺に  
押しつけてろ

なに勝手に  
離れようと  
してんだ

おい







お往生際が悪いぜ  
お婆さん

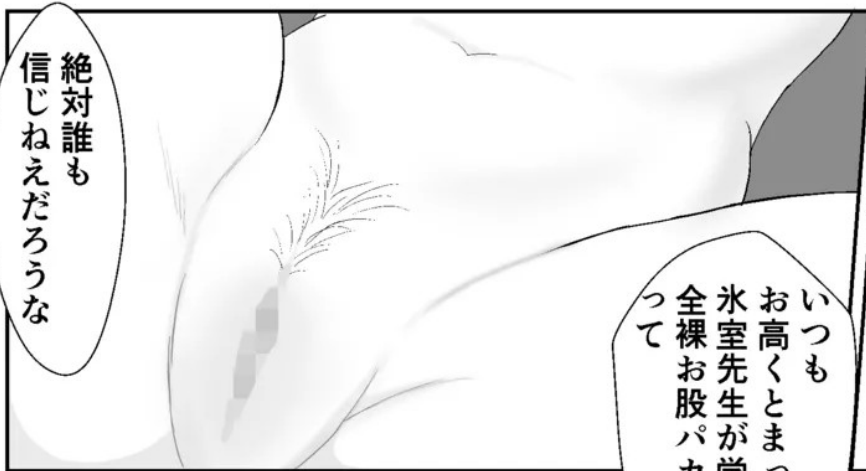
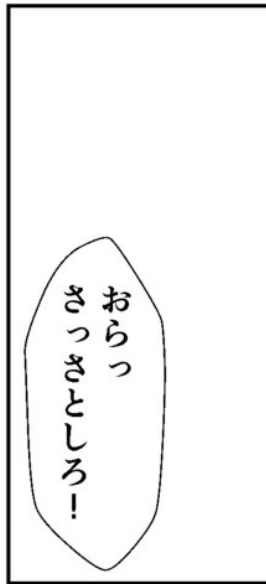
股開いて  
手で支えてろ

俺にマンコ  
捧げる  
みてえにな

!!?

そんなことーっ

おい  
黙ってろって  
言ったら  
勝手に口開くんじゃ  
ねえ





全裸でさ  
職場で  
やるとか...

見ろよコレ

俺もすっげえ  
興奮してきた

.....と  
済ませて

私はあなた程  
暇じゃないの

うるせえババア  
喋んなつたろが

そんなエロい  
恰好で...

偉そうに  
すんな

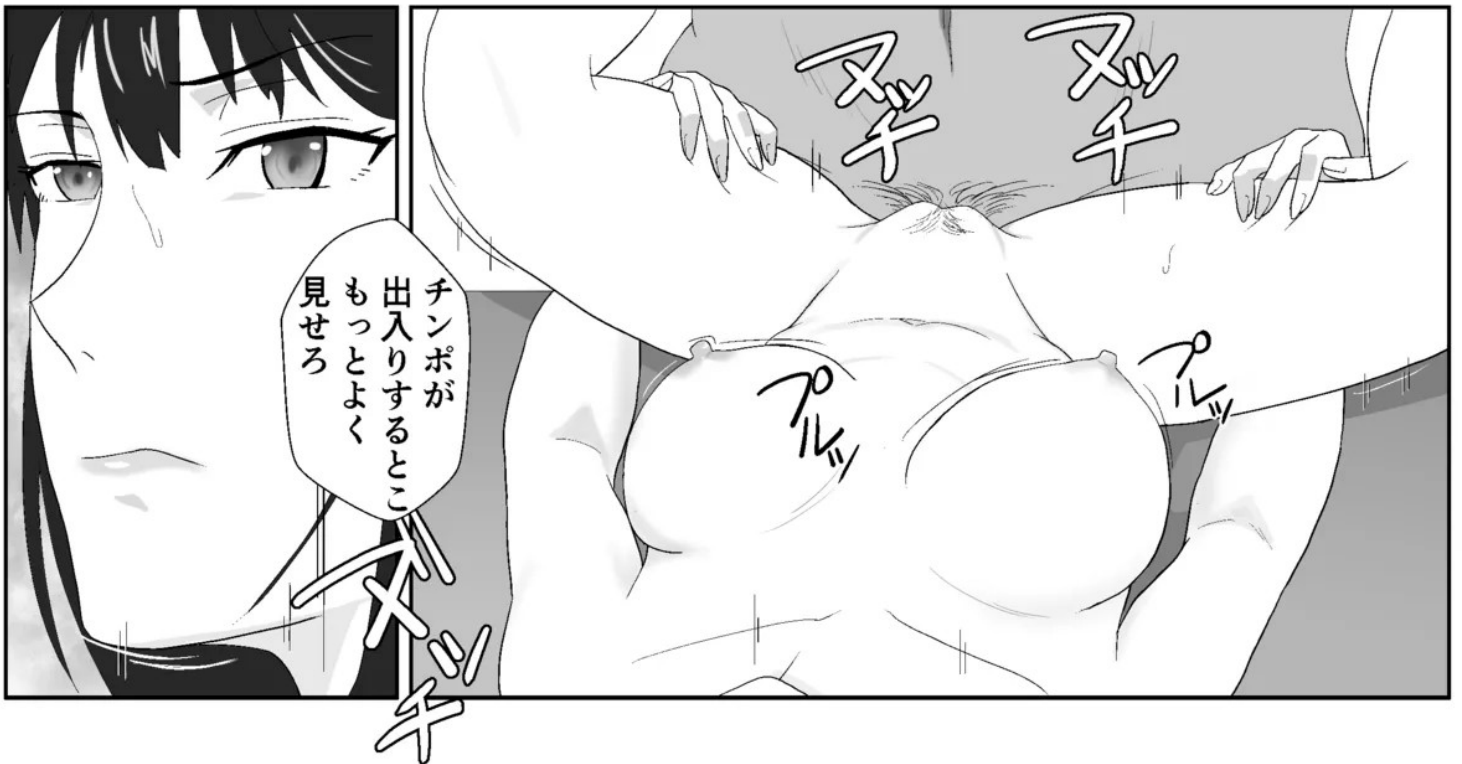
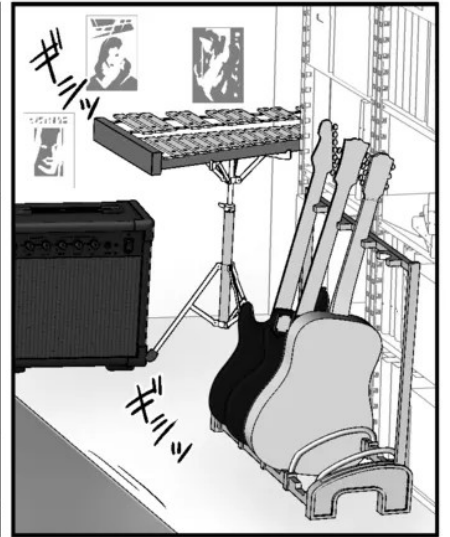
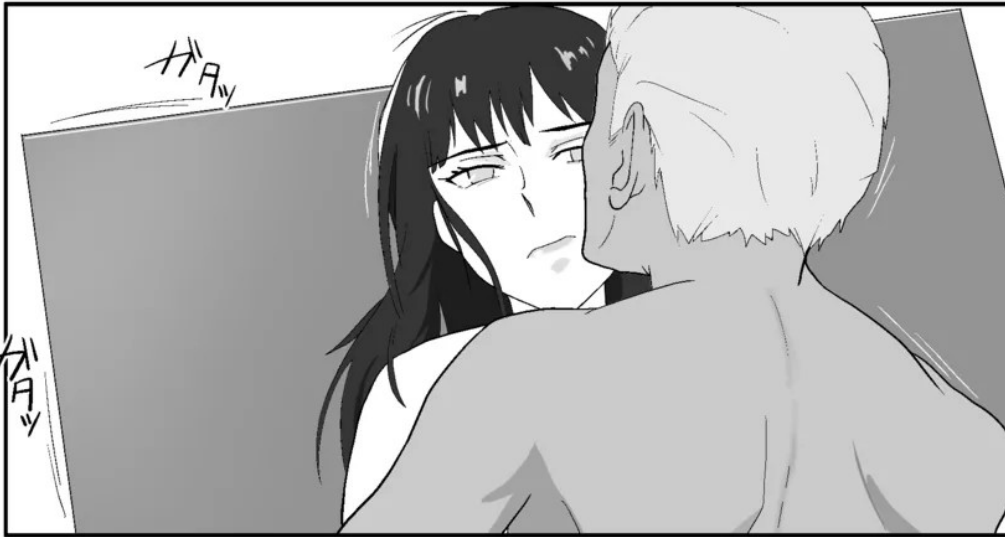
ぬるっ

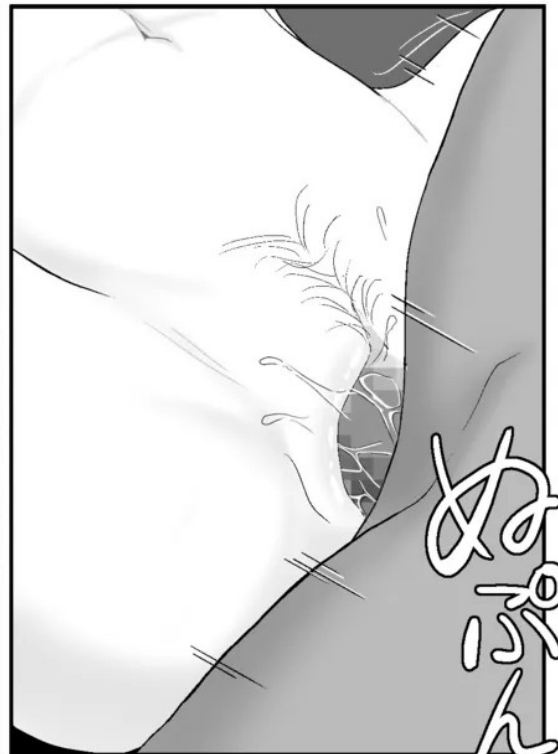
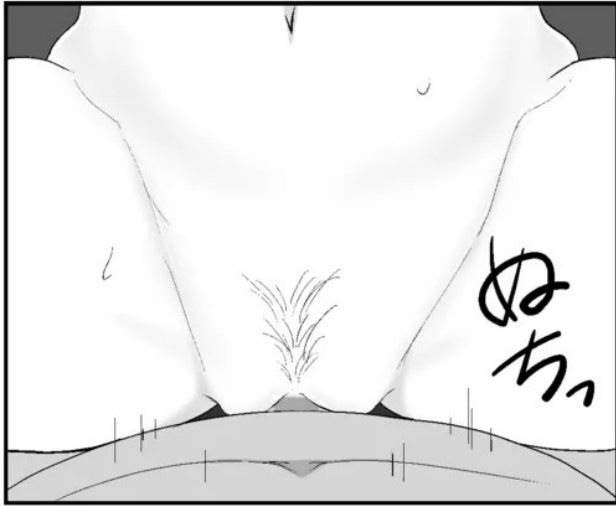
にゃーん...

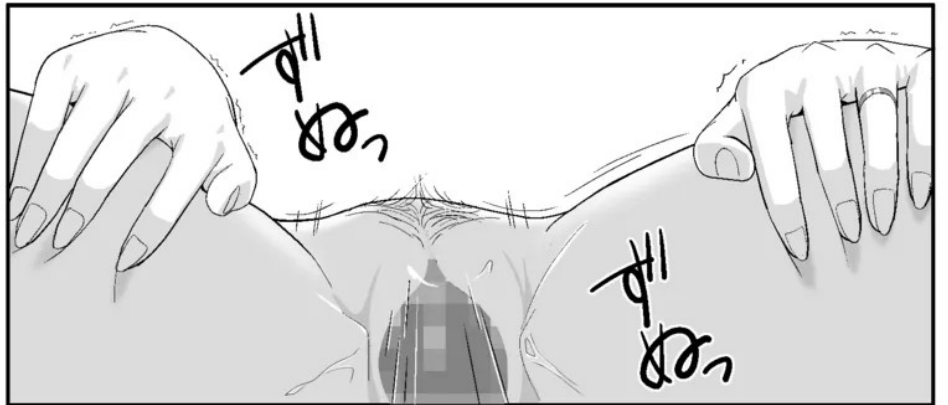
...おっ

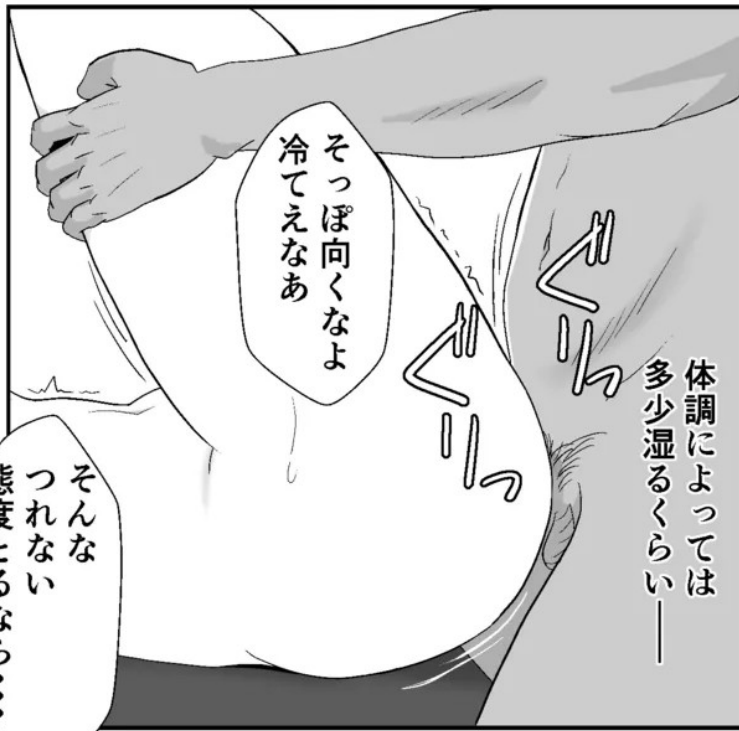
おおッ...

.....ッ















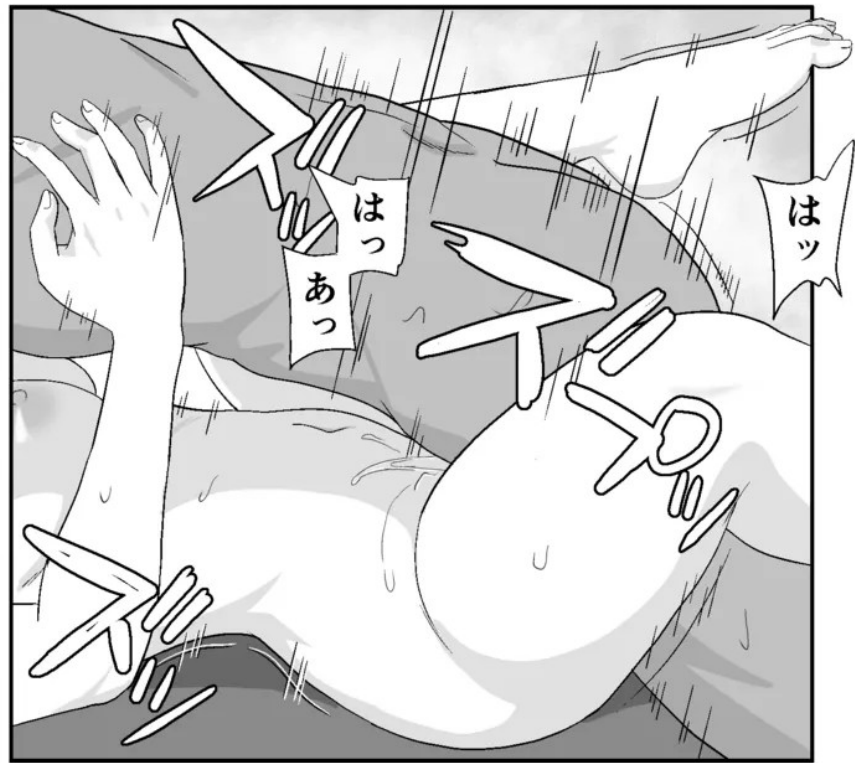


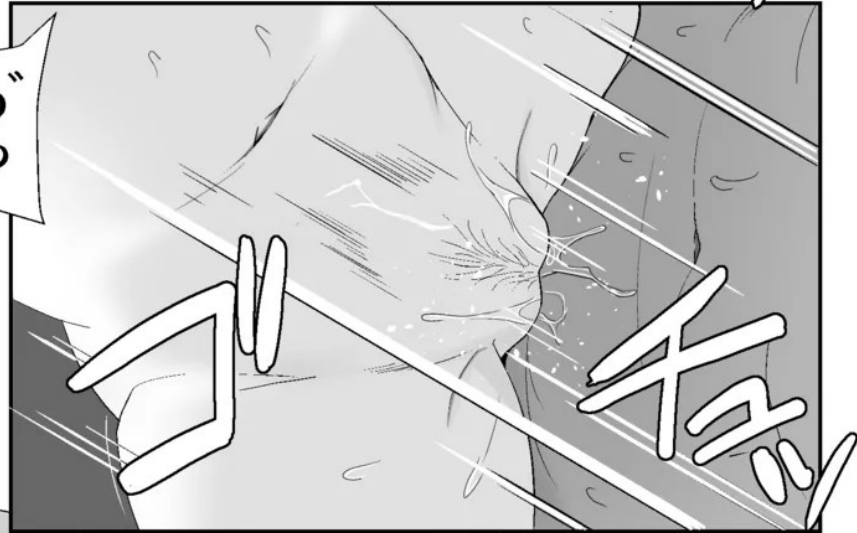
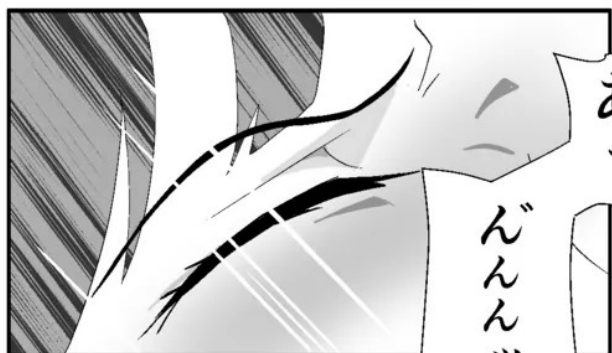
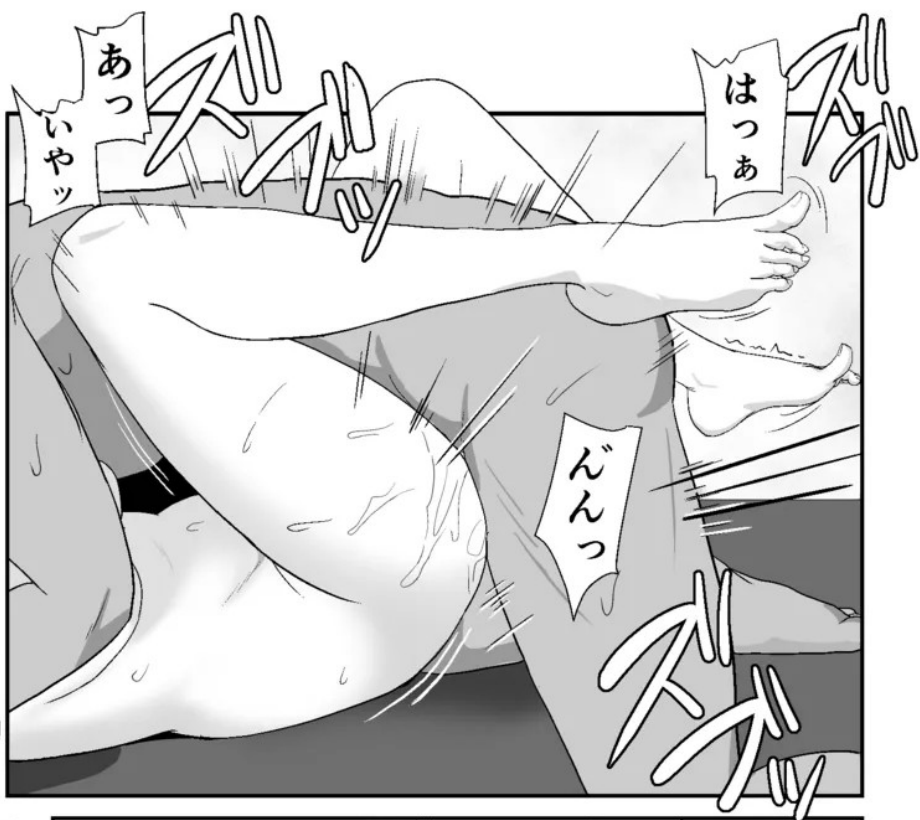












堂島は  
私を押さえ  
つけると

あぁっ

はッ

いやッ

はぁっ

執拗に  
私の中に  
吐き出し続けた

獣のような  
野蛮さと

一滴たりとも  
漏らすまいと  
執念すら感じさせる  
しっこさで  
私を汚した

う...あッ

はぁ

はぁ

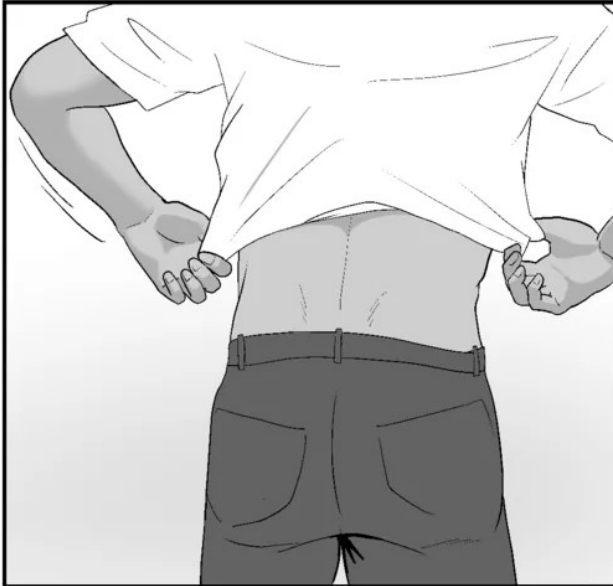
ちゃっ  
ちゃうー

っ

...

氷室先生  
楽器の準備が  
終わりました

ロ・ロ・ロ



か  
なんだ

はあー

はっ

あれ  
堂島先生……？  
氷室先生は？

氷室先生なら  
席を外してるぞ  
すぐに戻るから  
お前らは適当に  
自習しとけ



はい





俺、氷室先生に  
会いたくて  
体育の授業  
抜け出して  
きたんだぜ

……ッ

そんな  
嫌そうな  
顔すんなって

ツ……ッ

この浅ましい男は  
私が最も嫌がると  
知っていて  
あえて校内で行為に  
及んだ



あゝ  
そこもつと  
チロチロして

その後も堂島は  
低俗で  
卑猥な行為の  
数々を  
強要してきた



それに  
アンタが中出しは  
嫌だっつうから  
フェラで  
我慢してんのにさ  
傷つくなあ

あッ  
その金玉の  
付け根のトコ  
もっと強く  
さすって

ある時は  
私が担任を  
受け持つクラスの  
教室でも……

く……ッ

うう……

氷室先生もさ  
そうやって  
俺の膝に  
マンコ擦りつけてると  
気持ち良くなっ  
きたんじゃない？





おー  
若者たちが  
クソ暑いのに  
俺の指示に  
従って  
ランニング  
頑張るとるなあ

氷室先生の  
クラスの  
生徒ですね？



あいつら  
担任が教室で  
こんな事してるの  
知ったらどう思う  
だろうなあ

へへへ



このクズ

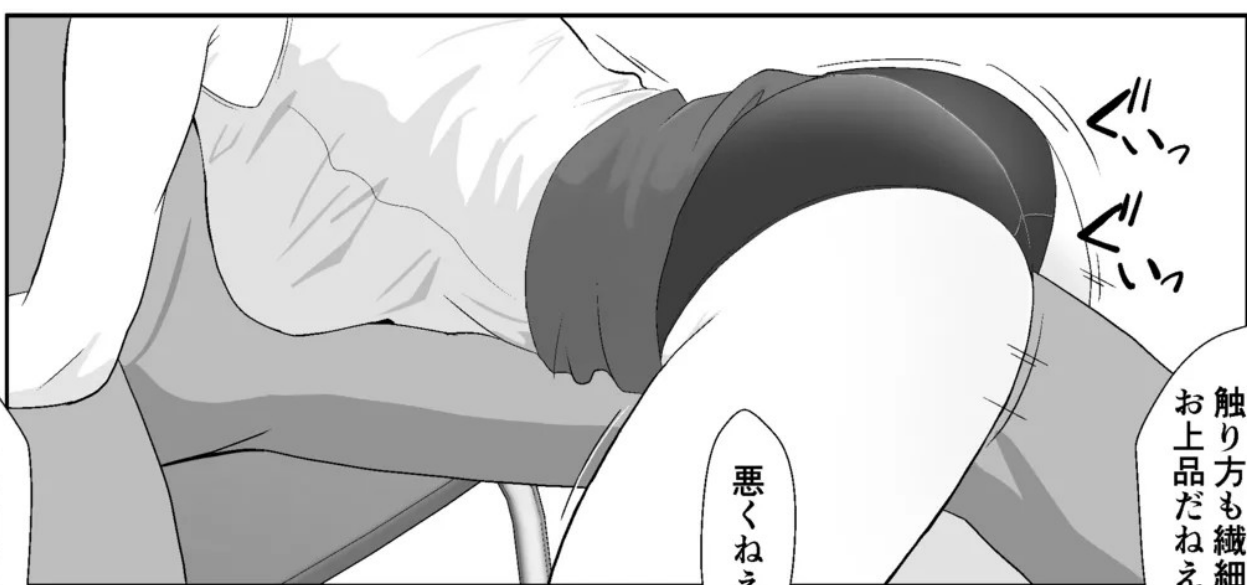
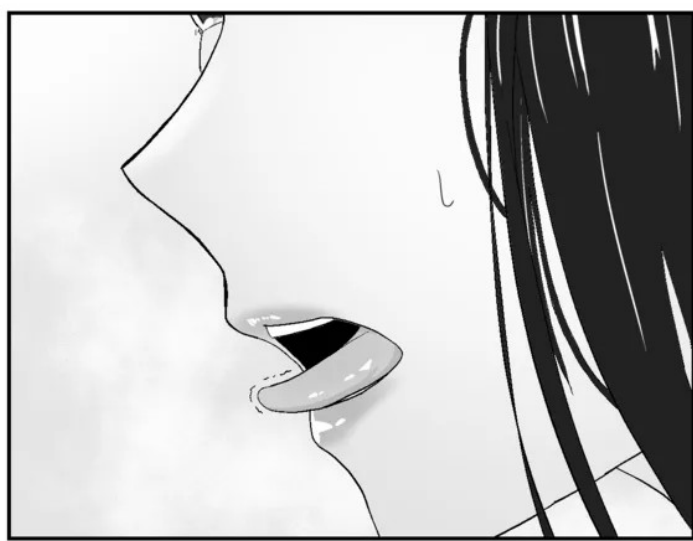
私を脅迫して  
おいて...



おひっ

コス

和  
和

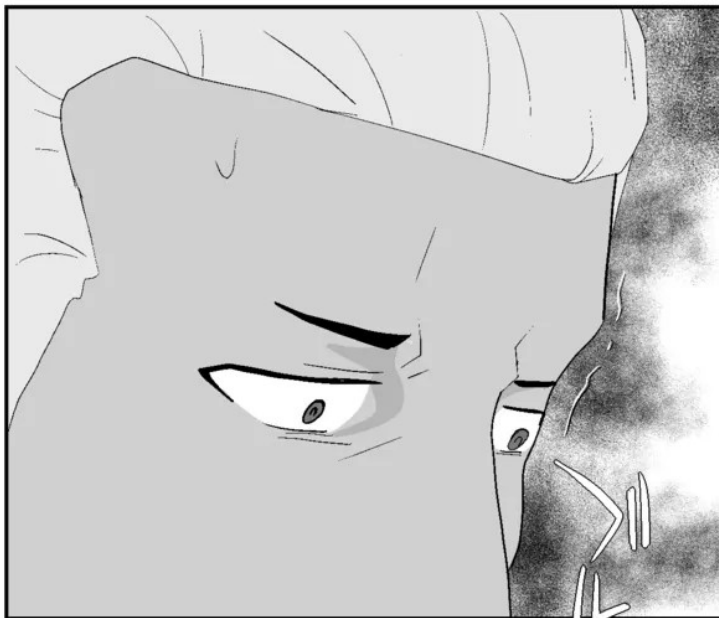
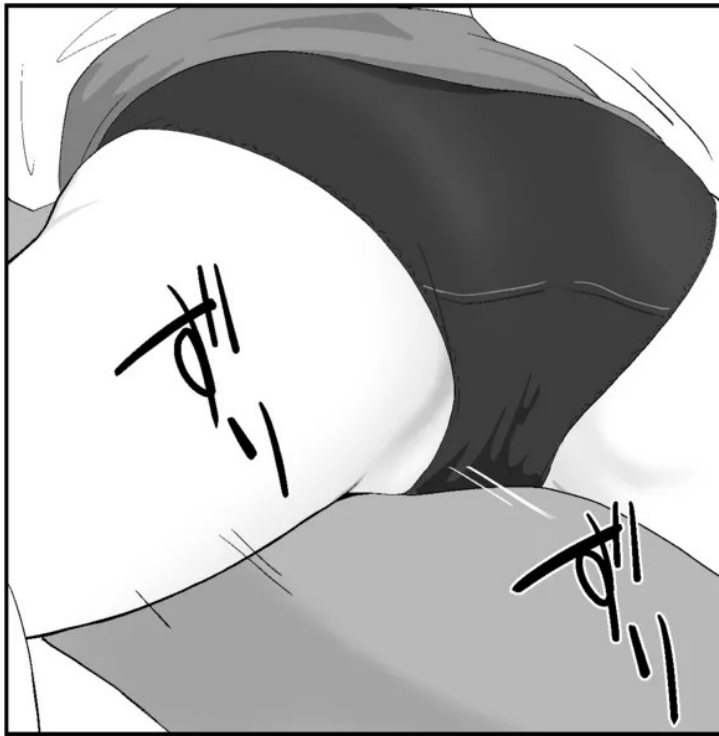
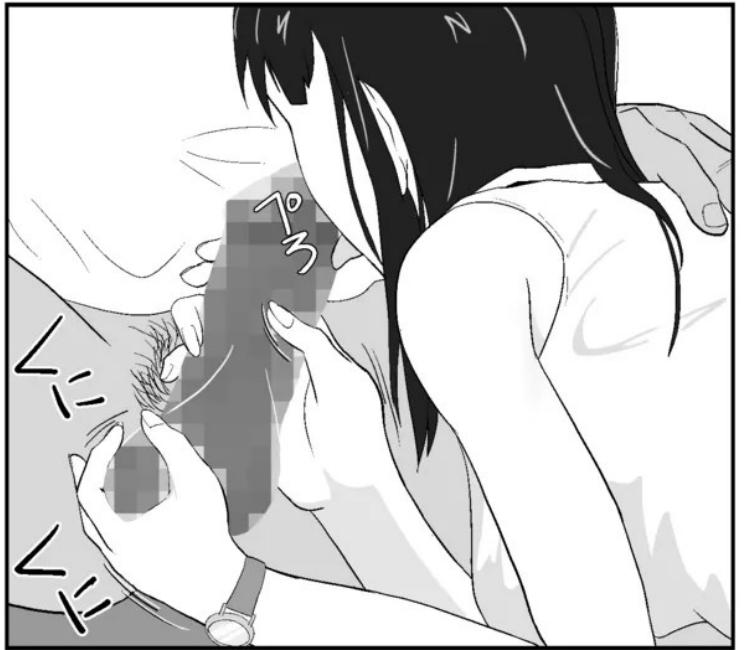
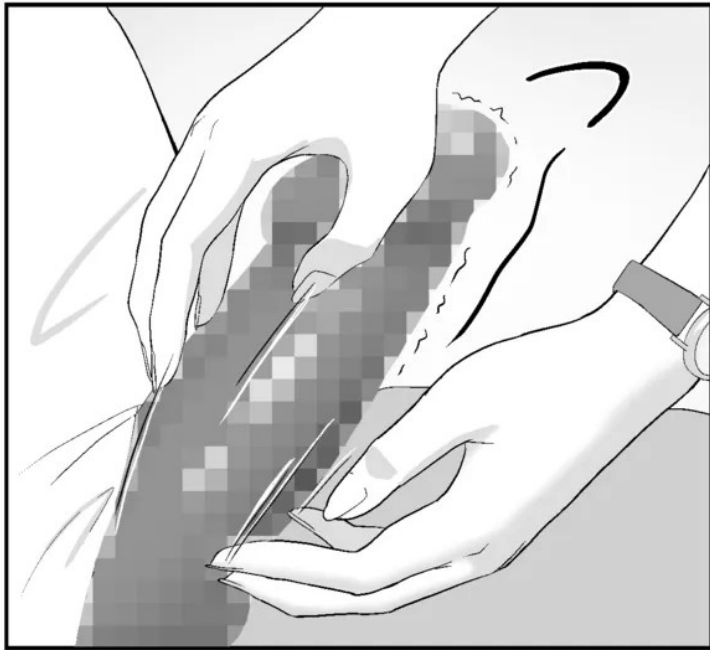


ぐいっ  
ぐいっ

ピアノ上手い  
だけあって  
触り方も繊細で  
お上品だねえ

悪くねえ

その調子で  
続けろ





ん……ッ

ぬぽっ

……うっ

充血した性器は  
木材のように硬く  
その異物感と不快に  
何度も嗚咽が漏れそう  
になる

ぐぽ

ぬぽっ

それを必死に  
堪えるのは  
弱みを  
見せたくない  
というプライド

あー  
良いわ

ぢゅぽ

ぢゅん

そんな事になんの  
意味もないと  
わかってる  
それでも……

けど  
もうちょい  
下品さが  
欲しいな

ぢゅん

上品な女が  
チンポ咥えてる顔  
メツチャそそる

ぢゅぽ

もっとさ  
ぎゅっと  
しがみついて  
身体を  
擦りつけながら  
しゃぶってよ

愚劣な男……ッ

そうそう  
良いよ  
その調子

グホ

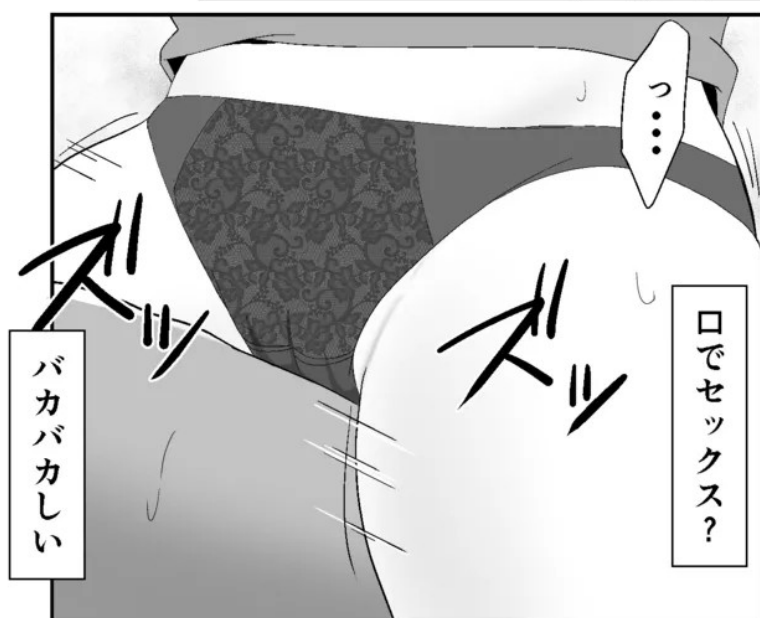
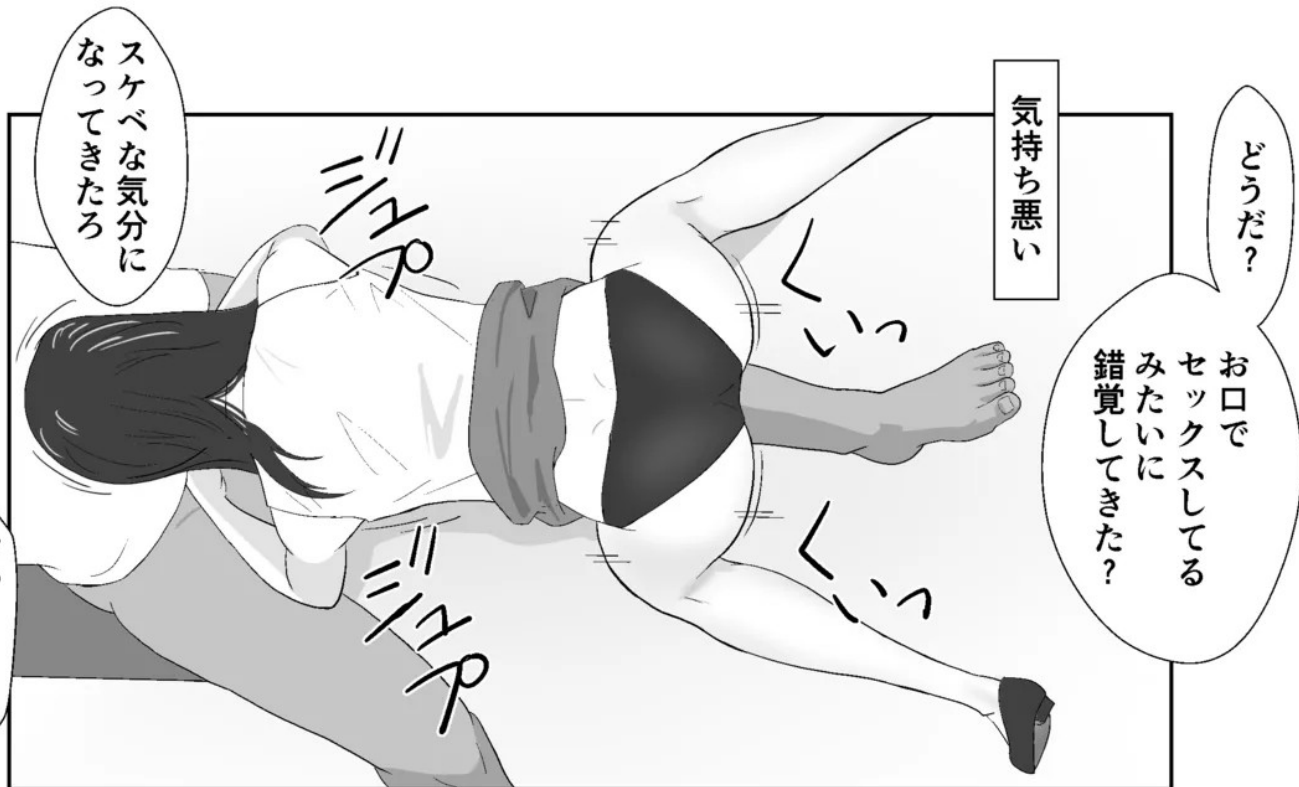
グホ

グホ

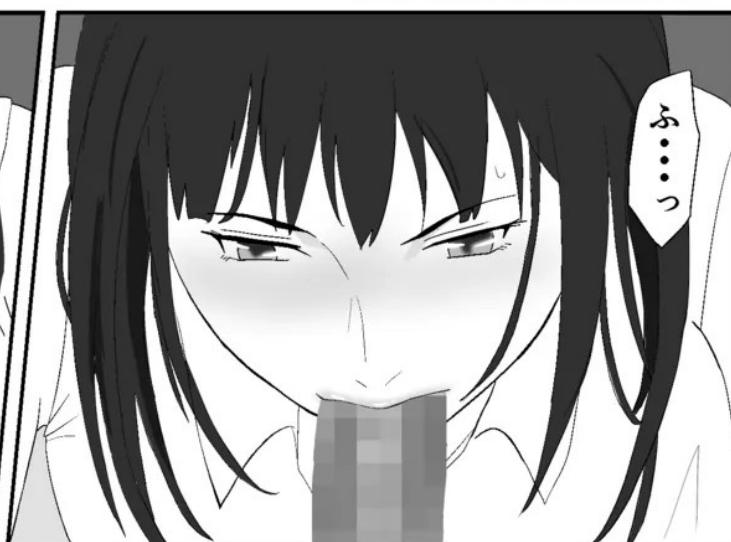
こんな……事で  
私は……ッ

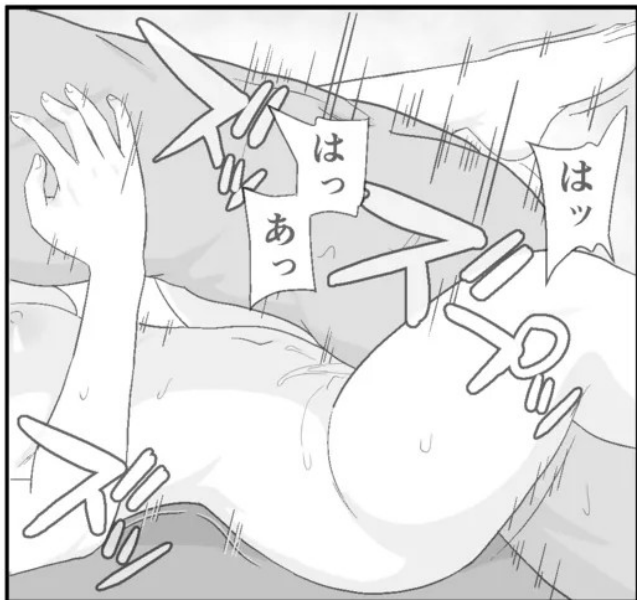




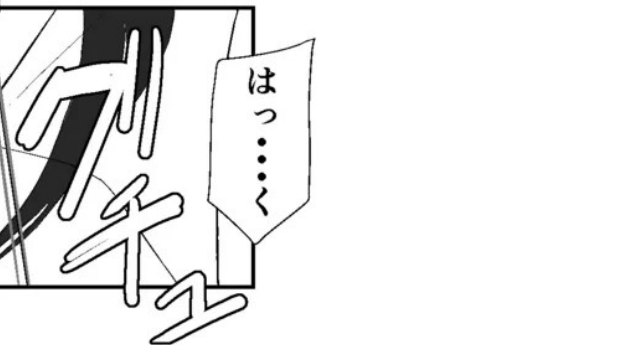
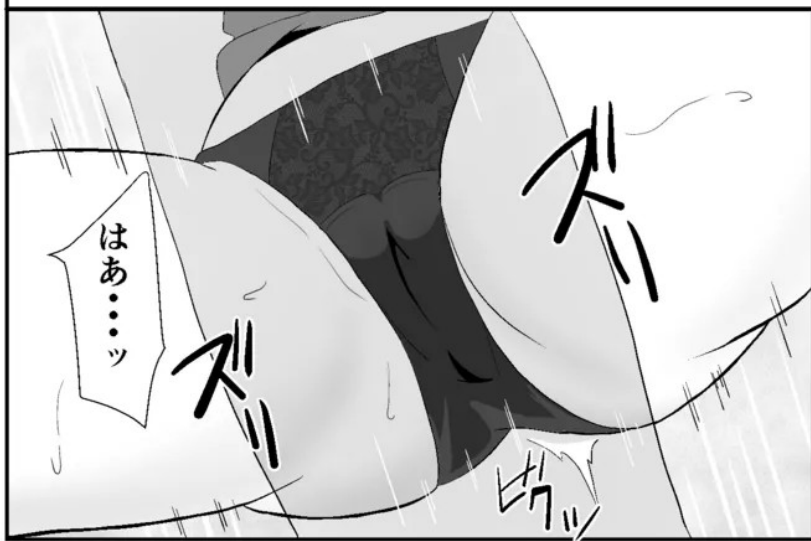


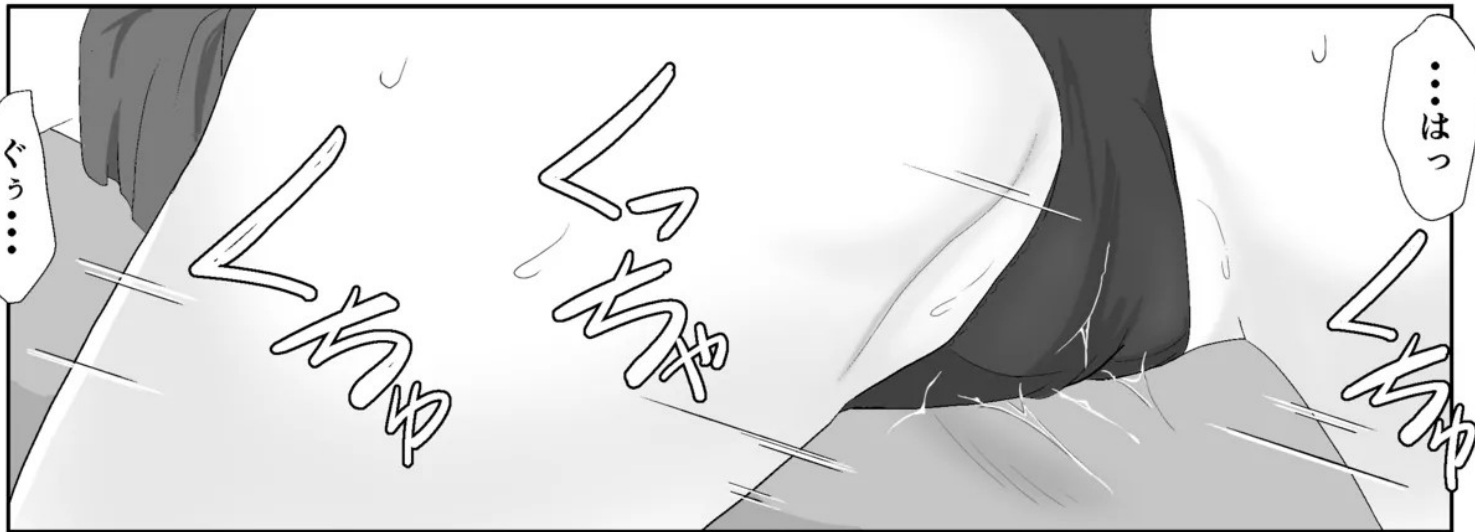
奥まで咥えろよ。膣奥まで突っ込まれるの想像しながらな





バカばか・・・しい・・・



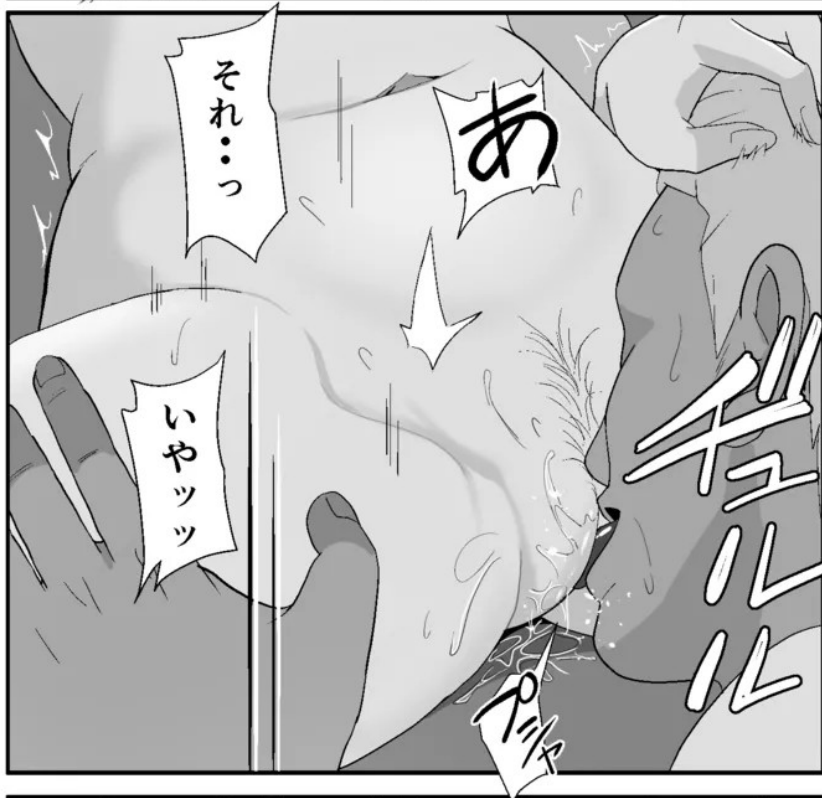




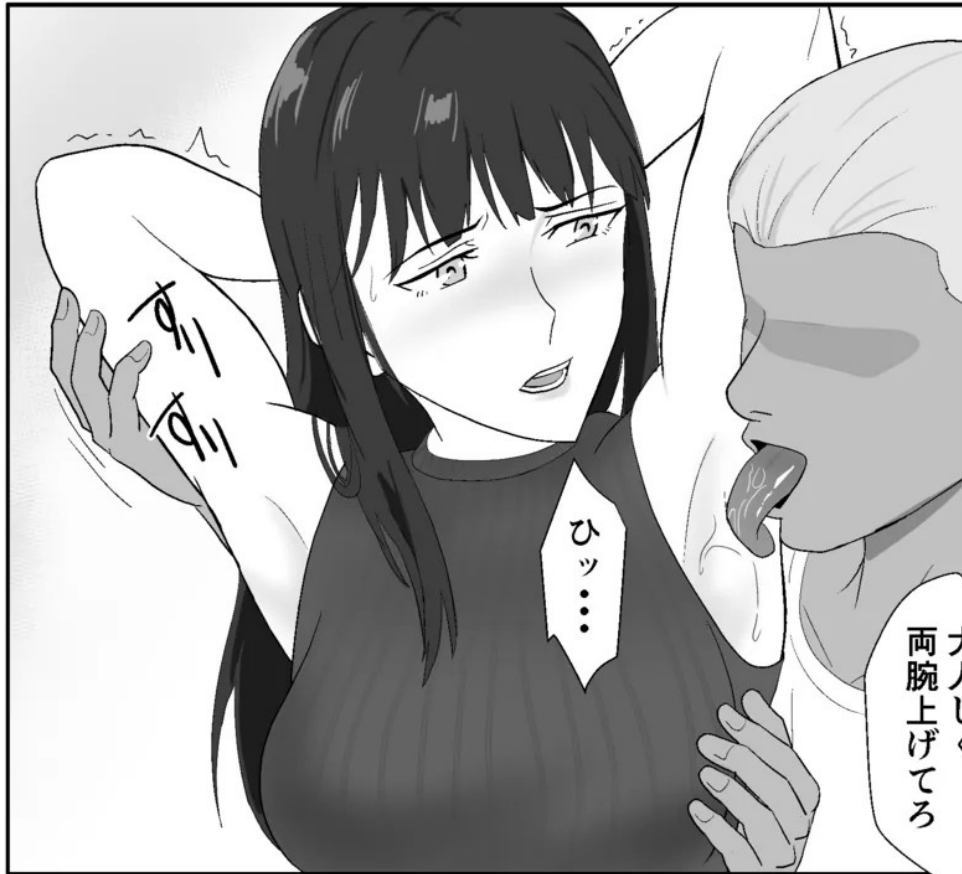
















頃合いだな…



それから堂島は  
私に迫るのをやめた

柔道部の顧問としての  
仕事が忙しく  
私に構う暇がない  
というのが  
理由らしい

『ぶっちゃけ  
ちよっと飽きたんだよね』  
そう言って  
ヘラヘラ笑っていた

連日に渡り  
繰り返された  
卑猥な日々は  
唐突に  
終わりを  
つけたのだ



最初は疑心暗鬼だった私も  
一か月が過ぎた頃には  
この平和な日々が  
日常となりつつあった

氷室先生  
さようなら

高田君は  
自転車通学  
だったわね  
気をつけて  
帰りなさい



今日は  
ここまで  
しましょう

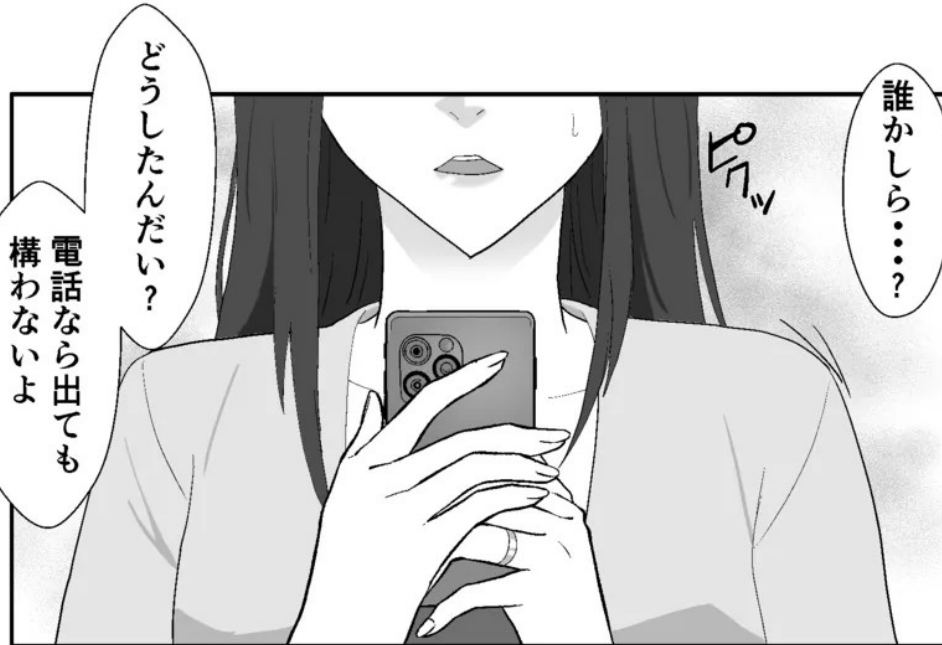
来週は  
小テストを  
行うから  
復習をしっかり  
やっておくように

はーい

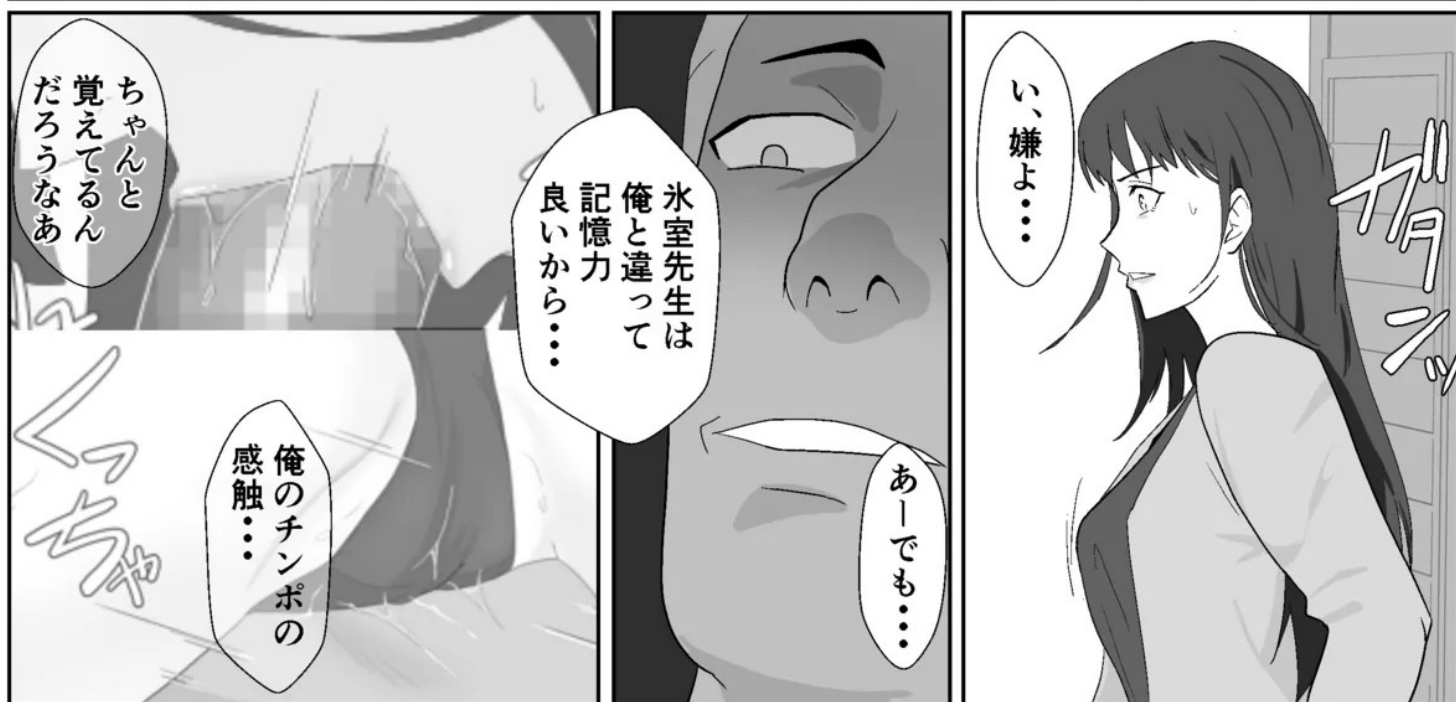
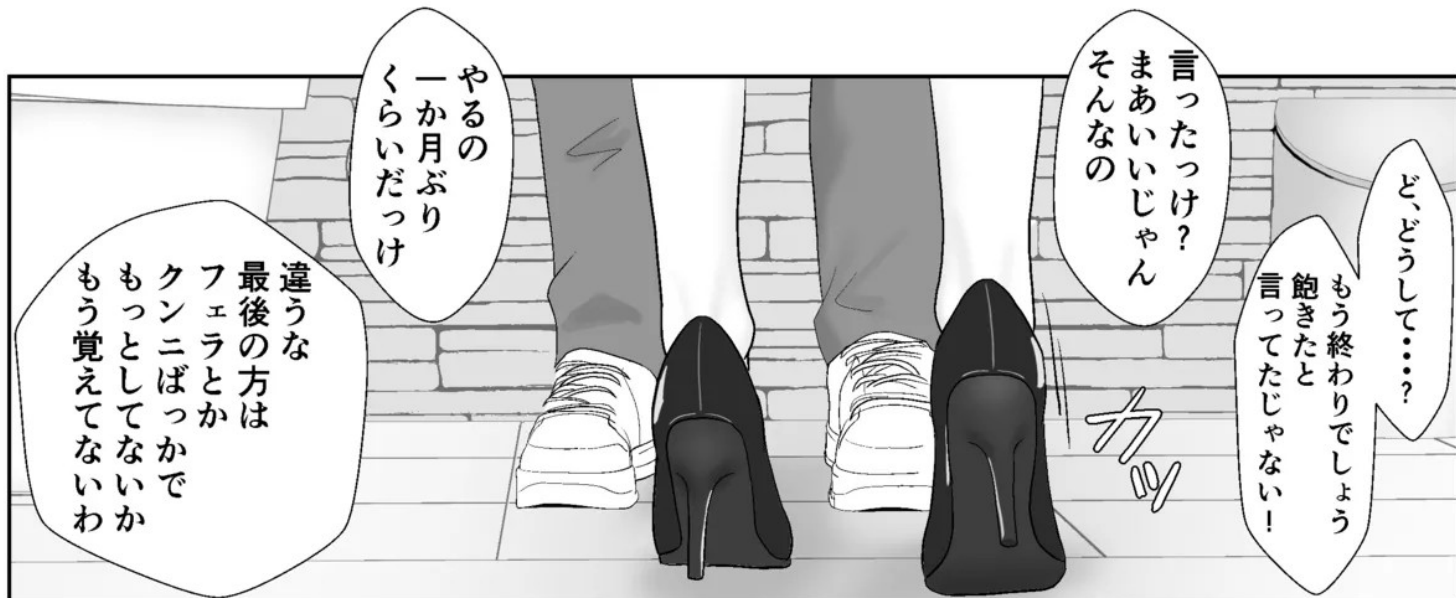
やべっ  
誰かノート見せて

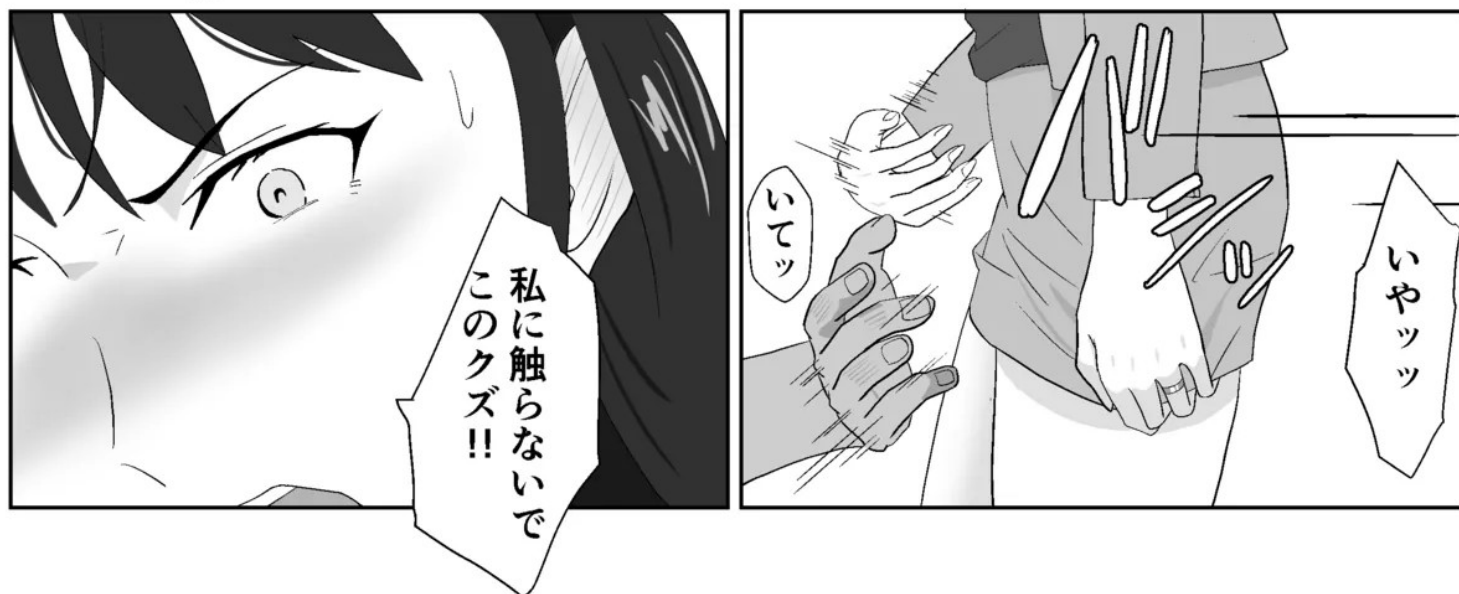
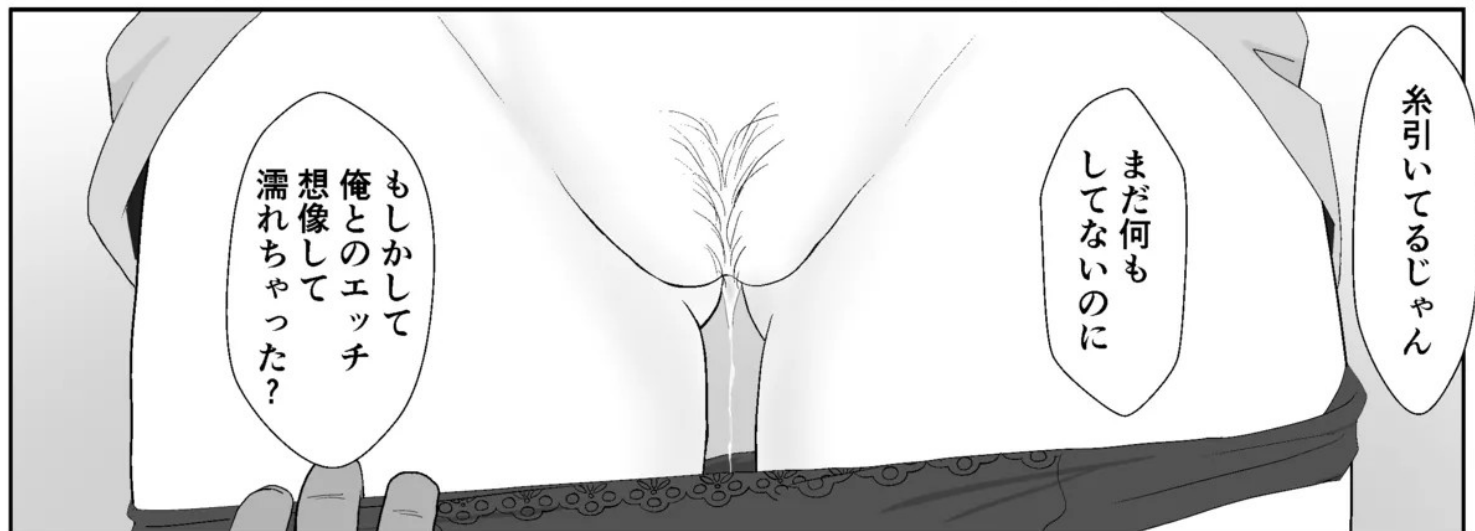
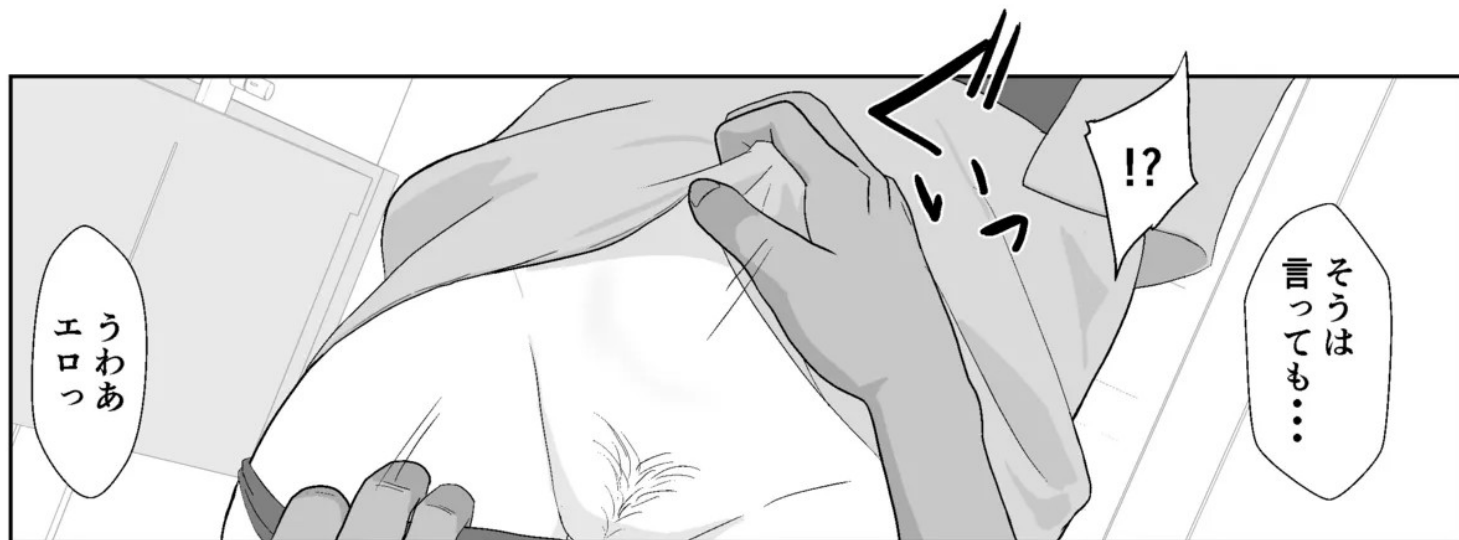




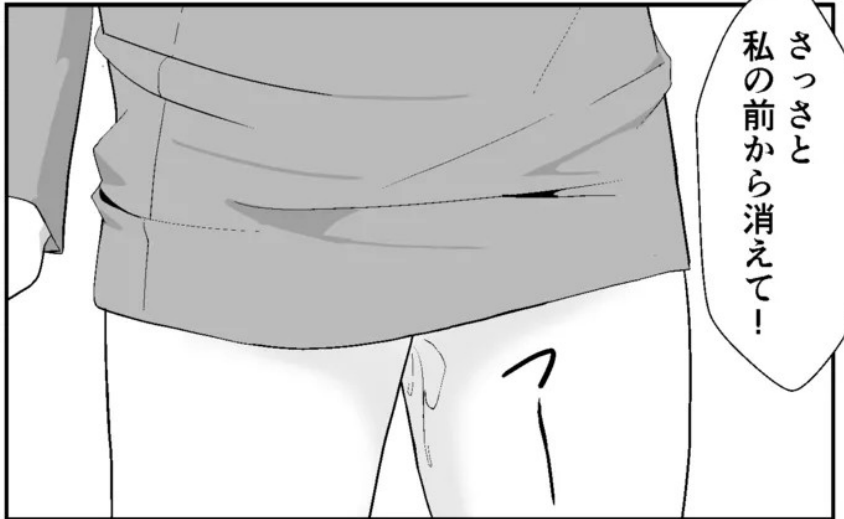




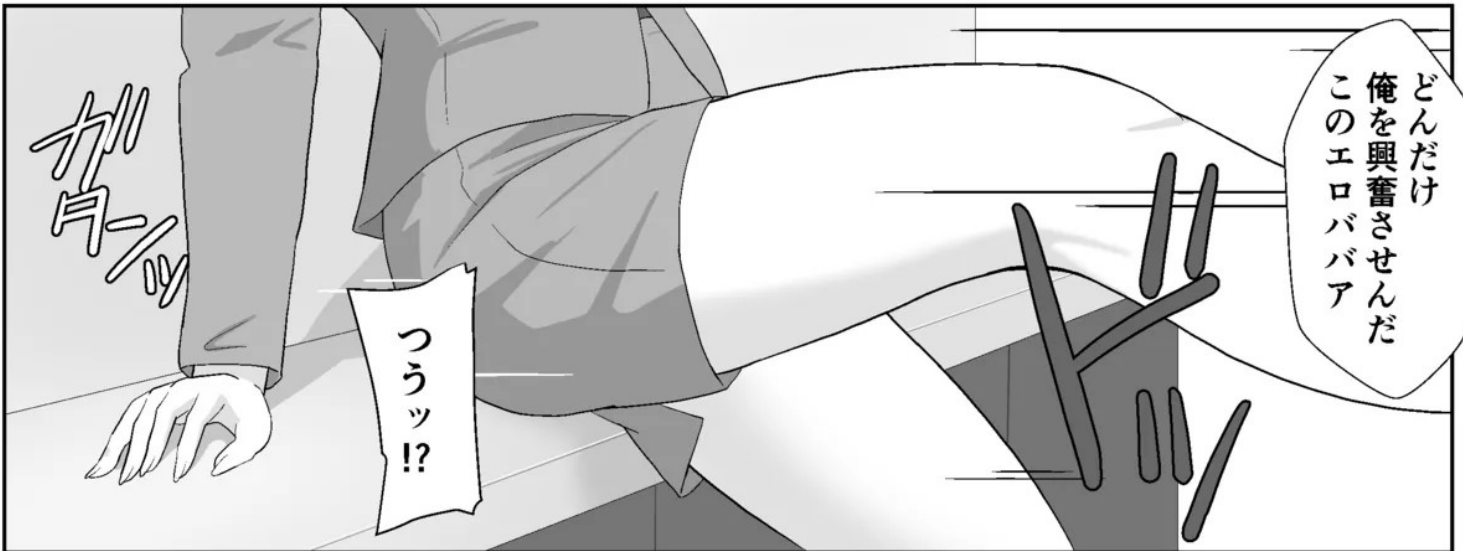








さっさと  
私の前から消えて!



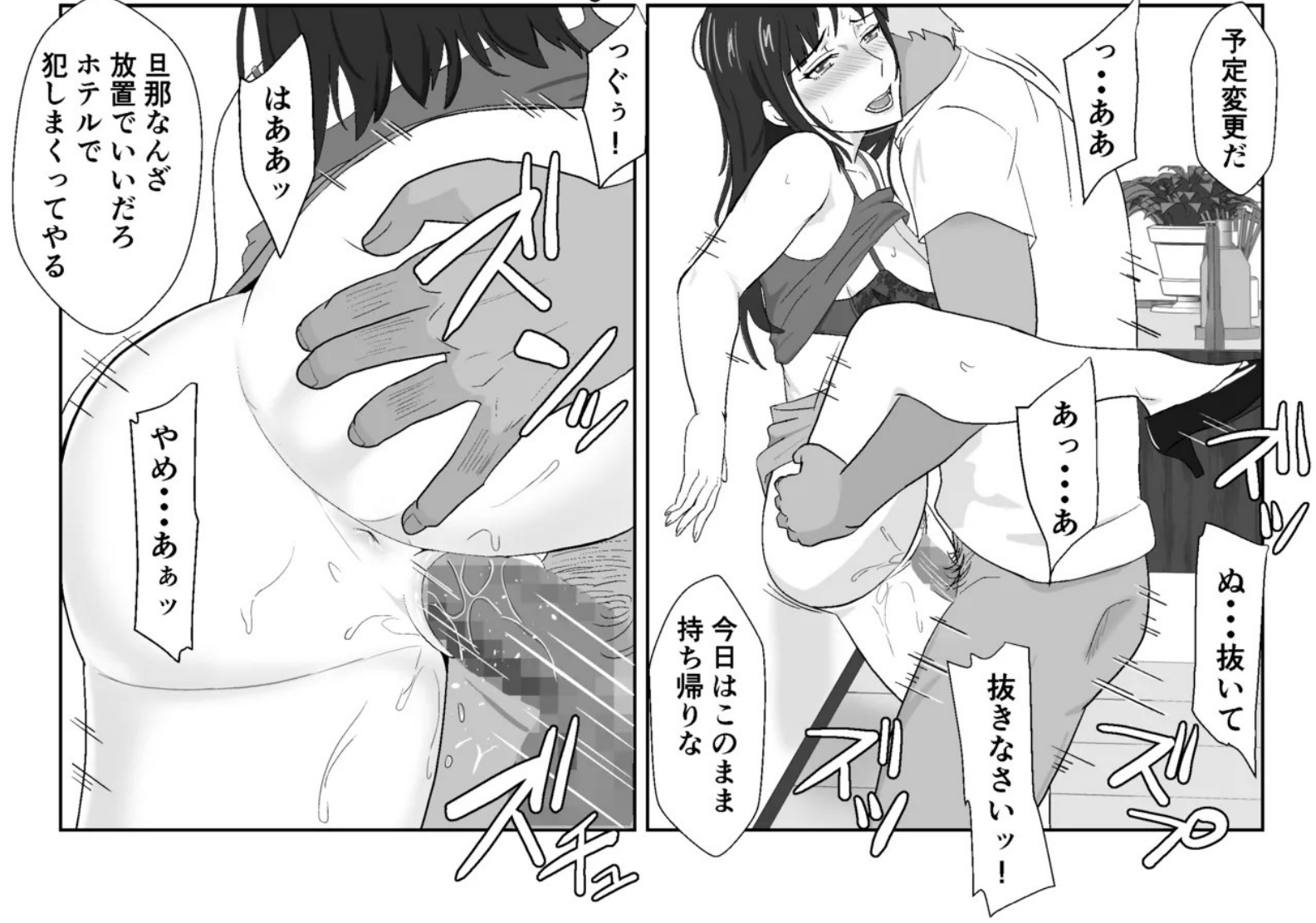
どんだけ  
俺を興奮させんだ  
このエロババア

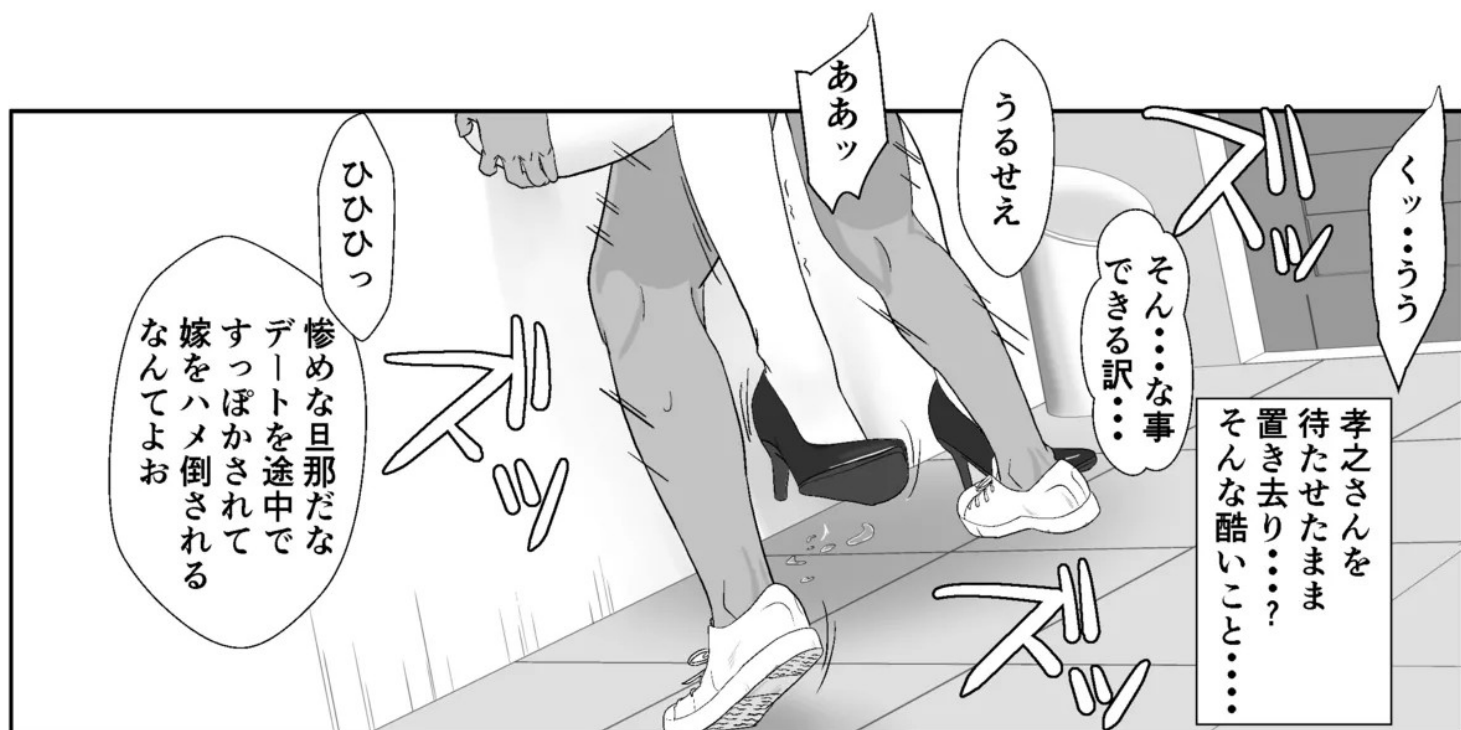


図書館でも  
脇舐めただけで  
トロトロにしがって

いい加減  
自分がスケベだって  
自覚しろ











そこまで  
懇願するなら  
メールくらい  
させてやるよ



仕方ねえなあ



覚悟  
しとけよ

それが終わったら  
ホテルで続きだ  
好きにさせて  
もらうからな

.....



っは

心配しなくても  
誰にもバレや  
しねえっての



わざわざ  
郊外のラブホまで  
来させやがって

まったく  
心配性だな



ンッ...んん

もうチヨイ  
前に来て  
動いてよ

はあっ

あー  
悪くないけど  
ちよっとしっくり  
こないな

ッあ



おー  
うまい  
うまい

さすが  
頭良い人は  
コツ掴むのが  
早いわ

んん……うッ

でもさ  
さすがに  
疲れたろ？

もう  
5回は  
イってるもんな

はあッ

あッ

はッ

パチュン  
パチュン  
パチュン

パチュン

仕方ねえ  
俺も協力して  
動いてやるよ

ッ……!?

待っ……

あッ  
あッ  
ああッッ

ズン  
ズン  
ズン

ズン  
ズン  
ズン

ズン  
ズン  
ズン

いやあッ

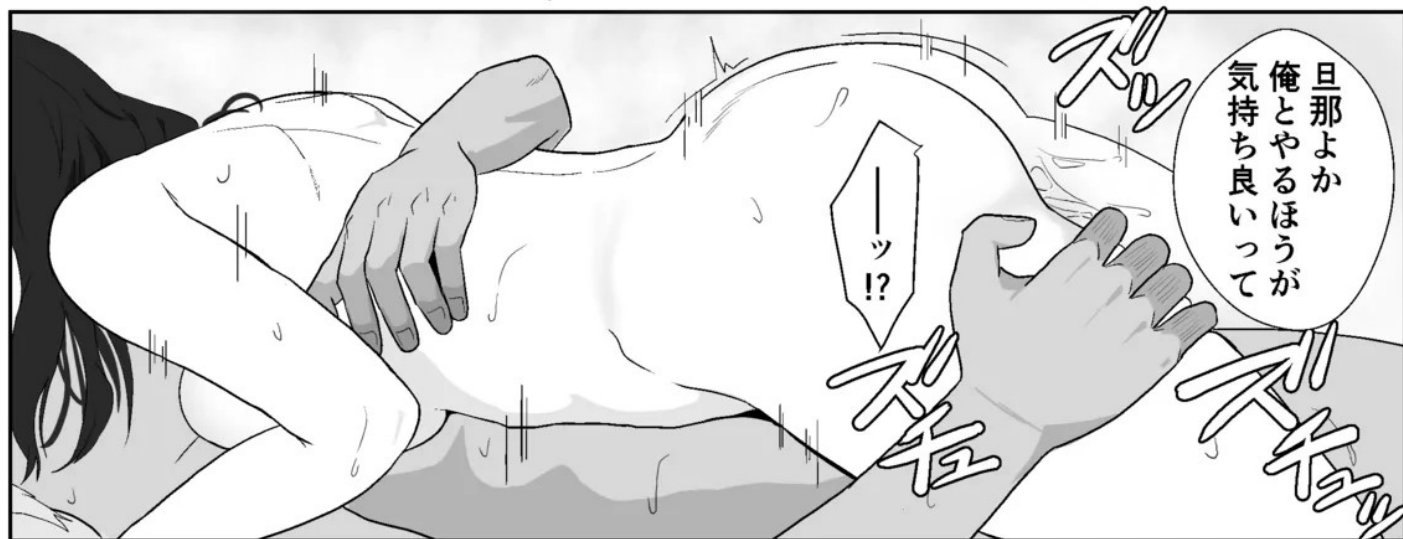
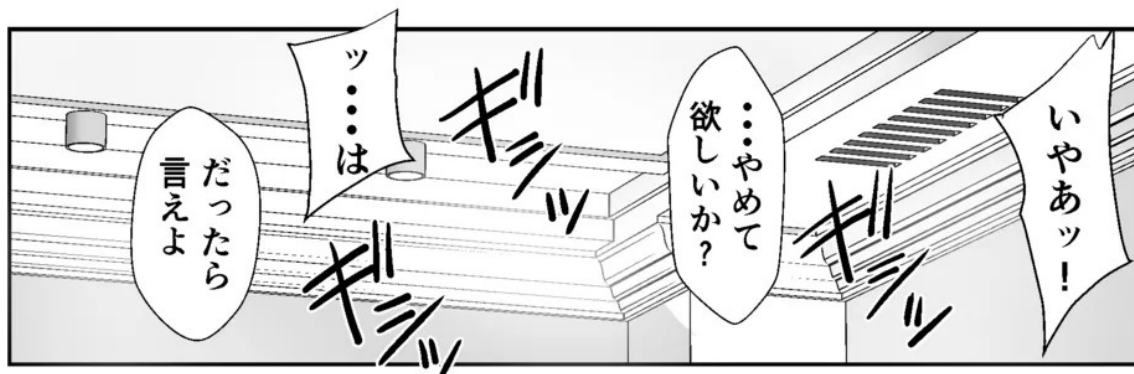
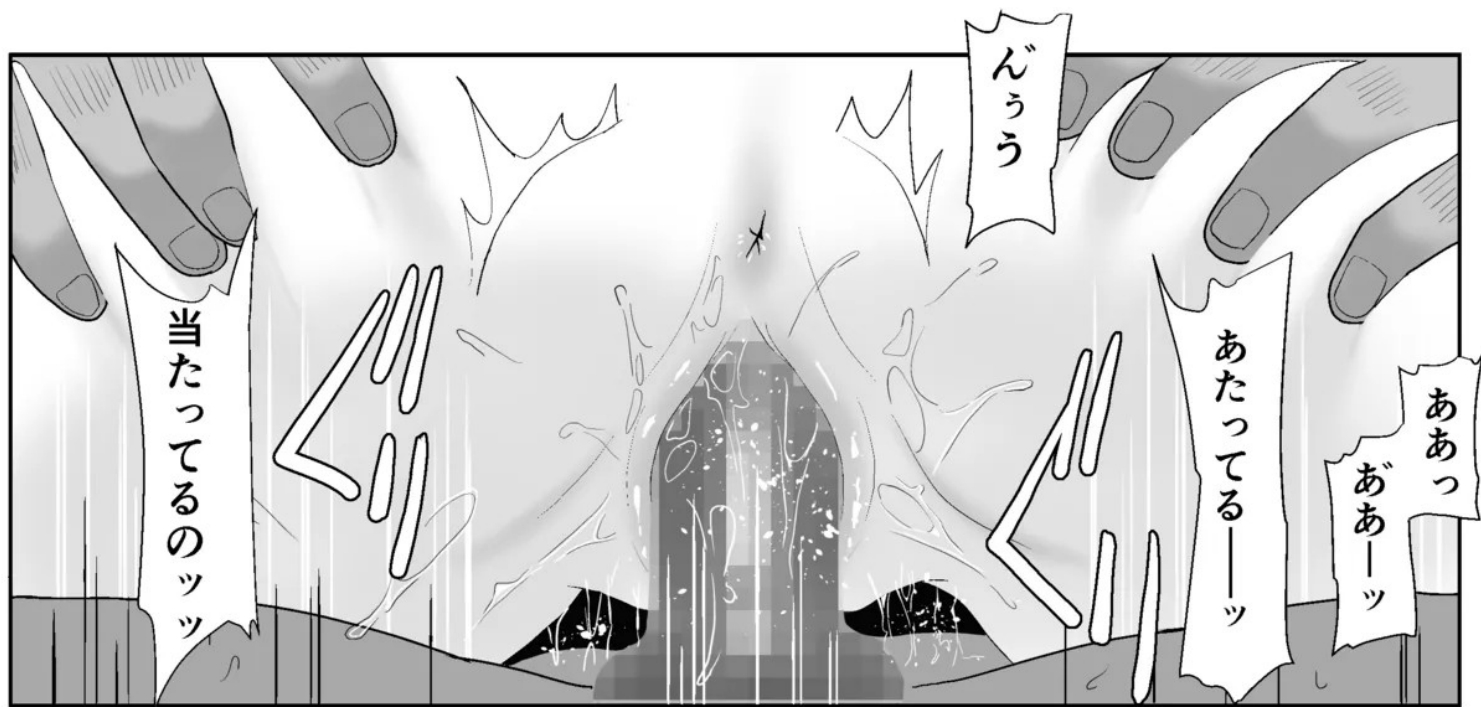
いやッ

ゼッ





本当にもう  
ダメだからあッッ

















それだめっ

ダメだった  
らああーッ

深いッ…  
からあ！

んーッ

もうっ…

いきたくないの!!



この  
スケベ女が

チンポに  
絡みついて  
何言ってるんだ

ぐっ

違う！

そんなこと…ッ



ごちゃごちゃ  
うるせえ

いっ…あ

やっ  
激し…ッ

ああッ

あんッ

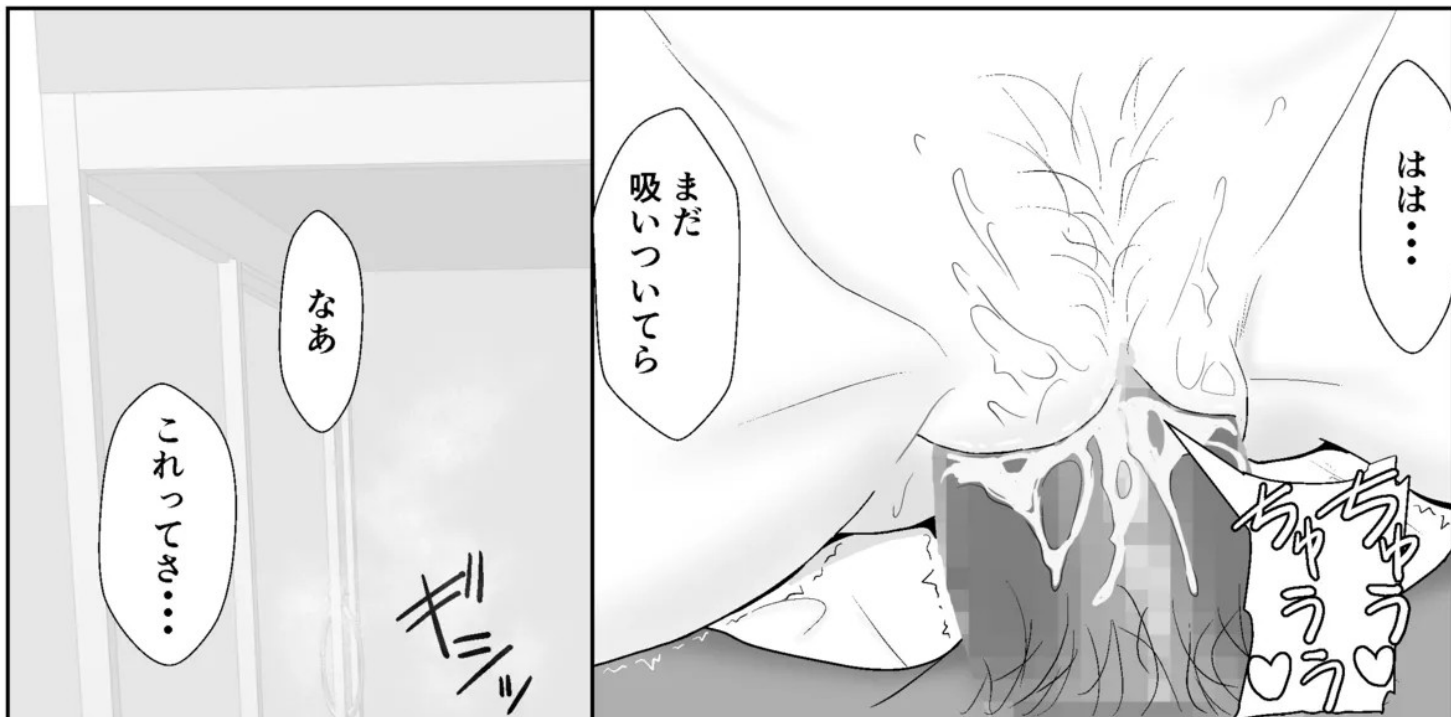
あんんっ

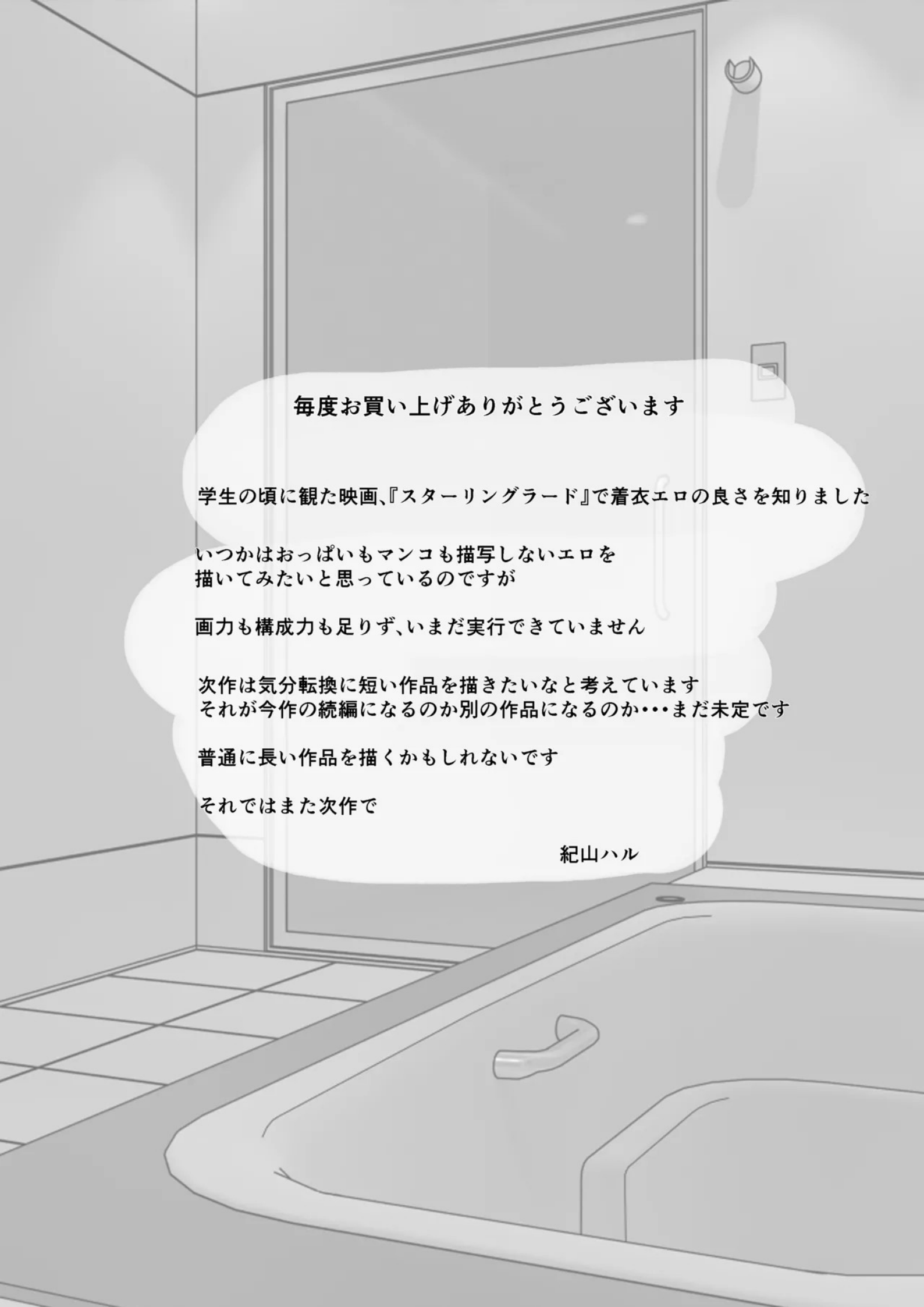
さっさと  
終わらせて  
やるから  
キスしろ











毎度お買い上げありがとうございます

学生の頃に観た映画、『スターリングラード』で着衣エロの良さを知りました

いつかはおっぱいもマンコも描写しないエロを描いてみたいと思っているのですが

画力も構成力も足りず、いまだ実行できていません

次作は気分転換に短い作品を描きたいなと考えています  
それが今作の続編になるのか別の作品になるのか…まだ未定です

普通に長い作品を描くかもしれないです

それではまた次作で

紀山ハル